

# 地球の岬

- 平成30年度山崎高校一年間の記録 -

創刊号



兵庫県立山崎高等学校

# 目 次

I	巻頭言 ー山崎高等学校年次記録誌『地球の岬』創刊に際してー 校長 原田 尚昭	2
II	学校行事	
1	第73回入学式	3
2	文化発表会	5
3	球技大会	6
4	体育大会	7
5	校内マラソン大会	9
6	第71回卒業証書授与式	10
III	各学科の取り組み	
1	普通科教育類型	15
2	森林環境科学科	20
3	生活創造科	31
IV	各学年の取り組み	
1	第1学年(73回生)	40
2	第2学年(72回生)	43
3	第3学年(71回生)	46
V	各部の取り組み	
1	総務部	48
2	教務部	52
3	生徒指導部	55
4	進路指導部	58
5	保健部	60
6	図書・人権教育部	63
7	生徒会	65
VI	各部活動の取り組み	
1	運動部	67
2	文化部	76
3	同好会	80
VII	平成30年度学校評価	82
VIII	平成30年度広報・HP	83
<資料1>	「校章・校訓・校歌・校木」由来	84
<資料2>	「校歌・生徒会歌」歌詞紙片	85
編集後記	教頭 篠原 歩	85

# I 巻 頭 言 — 山崎高等学校年次記録誌『地球の岬』創刊に際して —

校長 原 田 尚 昭

時は巡り、山崎高等学校1年間の歩みを振り返る時節となりました。私自身昨年4月の本校着任から3月末の今に至るまで実に様々なことがあったなど、一つ一つの出来事を思い起こしています。その歩みは、例えそれが何気ない日々の単なる一頁ではあっても、後で振り返ってみれば互いに関連し合いながら発展して、大きな歴史の転換点となっている場合があるものです。また、校内の各学年・各部署にとっても、教育活動の正確な記録を後世のために残し、毎年樹木が年輪を刻んでいくように積み重ねることによって足跡が出来、学校全体としての歴史が形成されていくのです。この冊子『地球の岬』は、正にその様な想いを持って創刊されることになりました。

この冊子の表題「地球の岬」は、本校校歌第3番目の歌詞「地球の岬佇つわれら」から採らせて頂きました。昭和54年11月7日に挙行された創立70周年記念式典で披露された校歌は、作詩竹中郁先生、作曲川澄健一先生という著名なるお二人によって作られたものですが、当時神戸在住であられた竹中郁先生は確かその2年前の昭和52年の秋に山崎町にお越しになって校歌作詩の構想を練られたのでした。「作詞」ではなく、「作詩」とされているところにも竹中先生のこだわりが感じられるのですが、それは、私が丁度高校2年生の時、先生を案内して廻られた国語科の川原清治先生が授業中にお話し下さり、私たちはどんな校歌が出来るのだろうかと思っていたものでした。唯、どなたもご承知の通り、私たちは「山崎高校生徒会歌」を校歌として歌っていた世代でしたので、後に発表された現在の校歌に出会うのは、私自身卒業後40年を経た昨年4月のことでありました。

「地球の岬」と言えば海が連想され、この山奥の宍粟の地にある山崎町と如何なる関係があるのだろうかと思われる方もあると存じますが、竹中先生は世界に広く目を向けて、その荒波にも負けずに立ち向かっていく若者の到来を願っておられました。その想いを次の「胸板にしぶきを 浴びて誇るかな」という一節に込めておられます。校歌は、1番から3番のいずれの歌詞も「山崎 わが土 わが母校」という象徴的な言葉で締めくくられています。ふるさとを愛し、高き理想に挑戦し続ける生徒を育てることが、我が山崎高校の使命であると教えて下さっているのではないのでしょうか。また、山崎町内を廻られる中でその地形に着目され、所々で山が出っ張っていて揖保川の流れに接している様子をご覧になって「地球の岬」と表現されたことは間違いありません。それは、『山崎町史』(278頁)にも「山の先端にあるから山崎という地名ができたことは、全国各地に同名が多いことで証明されている。」と書かれてあり、歴史と自然豊かな地で学ぶことが出来る喜びを共に分かち合いたいと思います。

時あたかも平成最後の年となり、同時に、来たるべき新しき時代の<sup>さきがけ</sup>魁となるべく山崎高校がさらなる発展を重ねてゆくことを誓って、平成30年度の記録誌『地球の岬』創刊号巻頭の言葉と致します。

平成31年3月31日

## Ⅱ 学校行事

### 1 第73回入学式

平成30年4月9日(月)13:30より本校体育館において、第73回入学式が厳粛に行われた。

(1) 式次第 開式のことば、国歌斉唱、入学許可、新入生宣誓、校長式辞、来賓祝辞、来賓紹介、祝電披露、校歌紹介、閉式のことば

(2) 入学許可 森林環境科学科36名 生活創造科40名 普通科135名 計211名)

(3) 宣誓 普通科5組 足立詩織

「私たち73回生一同は、兵庫県立山崎高等学校の教育方針に従い、諸規則を守り、心身を鍛え、勉学に励むことを誓います。」

#### (4) 閉式後

- ◇第1学年担任団紹介
- ◇職員紹介(校務運営委員)
- ◇第1学年主任あいさつ
- ◇PTA会長あいさつ・連絡等



#### <校長式辞>

校長 原田 尚昭

山桜とコブシの花が宍粟の山々を彩り、また新たなる一年が始まろうとする喜びに学校中が満ちあふれている今日の佳き日に、宍粟市長福元晶三様を始め多数のご来賓の皆様方のご臨席を賜り、兵庫県立山崎高等学校第73回入学式が斯くも盛大に挙行できますことは、この上もない喜びであり、高いところからではありますが、心より御礼を申し上げます。

只今、入学を許可致しました211名の新入生の皆さん、ご入学誠におめでとうございます。皆さんは、入学の喜びと共に高校生活への希望と将来への夢に胸を大きく膨らませていることと思いますが、皆さんのこれまでの成長の陰には、ご家族の支えや、小中学校時代の先生方、今までに皆さんが出会ってきた数多くの方々の励ましがあったということを決して忘れてはなりません。皆さんの人生の節目である今日のこの場に於いて、改めて「感謝する」ということ、「ありがとう」という気持ちが大事であることを、しっかりと噛みしめて頂きたいと思います。

ここで、皆さんのご入学に際し、高校生として持つべき心構えについて、幾つかお話をしたいと思います。

第一に、本校の校訓「希望・英知・敬愛」をしっかりと胸に刻んでください。「希望」とは、胸にしっかりと志を抱いて、「自分は将来こうなりたい!」という「夢」を描くということです。「英知」とは、高校生として確かな学力を身につけると共に、体験を通して新たな自分を発見し、生きる力を身につけるということです。そして、「敬愛」とは、今ここにある自分を大事にすると共に、周りの人々、つまり家族や友人、学校の先生、地域の方々を敬い、常により良き人間関係を作り上げようと努力することです。「希望・英知・敬愛」、「希望・英知・敬愛」…この校訓が教えてくれることが、皆さんの人生において如何に大事なことであるかということは、今はまだわからずとも、皆さんの後々の人生において、じわりじわりと染み込むように効いてくる、いわば魔法のような言葉となってくる、と信じています。

第二に、ふるさとに学び、ふるさとに貢献できる人になってください。皆さんがこれから三年間学ぶ、この山崎高校のある宍粟の地は、緑鮮やかなる山なみや揖保川の清き流れに恵まれた実に自然豊

かな地域です。また、古くは「播磨国風土記」の中で「宍禾の郡（しきわのこおり）」と呼ばれ、数々の伝説が今も伝えられている、本当に歴史豊かな地域です。そしてこの山崎が、黒田勘兵衛飛躍のきっかけとなった所であることは、皆さんもよく知っていることだと思います。このような環境の中で、三年間学べることを大いなる喜びとしてください。そして、いつの日にか、ふるさとに恩返しをしたいと思う人になってください。

第三に、「勉強」と「部活」に全力で取り組んでください。高等学校の教育内容には様々な側面がありますが、そのエッセンス、つまり要点は何かと問われれば、それは間違いなく「勉強」と「部活」です。本校では、すべての教職員が「きめ細やかな生徒指導・学習指導・進路指導」を教育活動の「命」として生徒の成長を支援し、学びの喜びを共に見つけるべく日々努力を重ねています。また、その部活動の充実ぶりには目を見張るものがあり、本校は今後とも「勉強と部活が思いっきりできる学校づくり」を力強く推進していきます。皆さんにとっても、たった一度きりの高校生活。最近ではネットやゲームなどに多くの時間を費やしてしまっている人が多いのですが、それで本当にいいのだろうかという疑問を常に心の中に持ち続け、「このままではあかん。自分がせなあかんのは勉強と部活や！」と、横道にそれようとする自分自身を「修正し、教育する力」を是非身につけてください。

第四に、一日の始まりを大事にし、「元気なあいさつと朝ごはん」を心がけてください。これは、ご家庭へのお願いでもあるのですが、「おはよう！」という朝の元気なあいさつが交わされているおうちが今どれだけあるでしょうか。そして、朝食を取らずに登校し、ボーっとした状態で授業を受けている高校生がかなりいることが、数多くの調査で報告されています。朝の元気なあいさつができるようになれば、家族の信頼関係を取り戻すことができ、子供は心が安定してしっかりと勉強や部活に取り組むことができます。また、朝食をしっかり取ることで子供は元気に登校し、授業もしっかりと受け、自然と学力が向上します。「元気なあいさつ・朝ごはん」を心がけ、学校に着いたら、友達や先生方と大きな声で「おはよう！」と元気なあいさつを交わしてください。これからの時代どんな力が必要でしょうか。それはしっかりと人間関係を築くことであり、元気なあいさつこそがその鍵となるのです。

最後になりましたが、各ご家庭の皆様方に対しまして、本日のお子様のご入学を心よりお祝い申し上げます。言うまでもないことではありますが、子供が大きく成長するためには、学校と親がしっかりと信頼関係を持ち、きちんとしたスクラムを組んで事に当たるといことが肝要です。家庭での子育ても、学校での生徒指導や学習指導も、実際には一筋縄ではいかないことも多くあります。しっかりとの方針と根気がなくてはなりません。私は、時折週末にふらっと車で出かけて、山奥の村々を巡ることが多いのですが、ある山あいの村で一本の古びた標柱に出逢いました。そこには、まさに家庭教育の真髄が書かれてあったのです。「子育ては 親と子供の 根くらべ」。何とわかりやすく、しかし含蓄のある言葉ではないでしょうか。しかも、昨今の私たちが忘れかけていた大事なことを教えてくれています。親が、親としての務めを果たし、子供は必死に伸びようと努力する。その中でぶつかり合いもあるのですが、じっと時を待って耐えることも肝要です。私は、ふらっと訪ねた山奥で、思いもかけず大変な宝物に出逢った、という気持ちになりました。私たち教師も、この言葉をしっかりと肝に銘じ、日々の教育活動に邁進していきたいと思っています。

さあ、新入生の皆さん、「自分は将来こうなりたい。」という「想い」を持ち続け、日々努力を重ねていきましょう。私たちも「夢を発見し、夢の実現ができる学校づくり」をさらに進めていきます。そうすれば、皆さんは、真の意味で「地域の輝く星」として大きく成長し、心豊かな人生をその手にすることが出来るでしょう。

皆さんの可能性に大いなる期待を寄せて、式辞といたします。

平成 30 年 4 月 9 日 兵庫県立山崎高等学校長 原 田 尚 昭

## 2 文化発表会

(1) 今年度テーマ 「響心楽力～For One Purpose～」

(2) 日程・内容 6月15日(金)

8:40～9:20 演劇部舞台発表 9:20～9:40 展示・バザー紹介 9:50～10:20 箏曲部舞台発表  
休憩(合唱舞台準備) 10:30～11:30 合唱コンクール決勝 11:40～12:10 吹奏楽部舞台発表  
12:10～12:15 諸連絡 12:15～15:00 昼食・自由鑑賞(文化部・学年展示・バザー・有志行事)  
音楽選択者・有志合唱「あなたに会えて」 15:00～15:30 教室・ステージ片付け・教室の復元  
15:40～16:00 表彰式・閉会式(合唱講評など) 16:00～ SHR、後片付け

(3) 概評及び各賞結果

心配されていた天気もなんとかもちこたえ、文化発表会が行われた。今年は新たに野外ステージを  
を設置し、有志発表が大いに盛り上がった。体育館のステージでは太鼓を勇ましくたたき姿から始  
まり、力を合わせた合唱、各部活の素晴らしい演奏と続いていき、その迫力に圧倒された。

生徒たちも普段とは違った顔を見せてくれた良い文化発表会となった。

★合唱コンクール 最優秀賞：3-5『ボクノート』 優秀賞：3-3『楓』 2-5『青いベンチ』

★展示・発表部門 最優秀賞：2-6 富嶽三十六景つまようじアート

優秀賞：2-1 校歌木彫レリーフ、吹奏楽部

★テーマ賞 3-6・1-6



### 3 球技大会

- (1) 実施日 平成30年7月17日(火)→異常高温のため9月7日(金)に変更して実施
- (2) 目的 球技大会を通して、学年を越えた生徒同士の交流やクラスメイトの団結力の向上を目指す。また、一学期期末考査後の疲れた気分をリフレッシュさせることにより、改めて生徒が学業や部活動に向けて積極的な意識を持てるようにする。
- (3) 種目(場所) 男女バレー(旧グラウンド)、男女バスケット(体育館)、男子ソフト(新グラウンド)、女子ドッジボール(旧グラウンド)
- (4) 日程 8:35 SHR(貴重品の確認) 8:50 体育館集合完了(各クラス2列の全校集会の隊形)  
9:15 開会式 9:30 競技開始 15:15 競技終了・閉会式～後片付け・SHR
- (5) 注意事項 ① 服装は体育時の服装とする。② 昼食時以外は、校舎内への立ち入りを禁止する。  
③ 教室、食堂および自動販売機の利用は11:00～13:00とする。④ 校外に出ることは禁止
- (6) 準備・片付けについて (準備) 前日7月16日の放課後に、下記で割り当てられたクラブで会場準備、(後片付け) 全体で行う。
- (7) 結果

男子ソフトボール	3-1	2-5	2-1A
女子ドッジボール	1-4	3-2	1-2A
男子バレーボール	3-1A	2-6	3-4
女子バレーボール	3-2	3-3	1-2
男子バスケットボール	3-6	3-5	2-1
女子バスケットボール	2-5	2-2A	1-2



#### 4 体育大会

#### 今年度テーマ「百花繚乱 ～燃えろ山高魂！～」

##### (1) 目的

- ① 競技・応援に参加することで、クラスの仲間との友情や絆を高め連帯感を育む。併せて、責任感や協調性も育む。
- ② 集合・入退場などを生徒の集団訓練の場とし、社会性を身につける。また、日頃の授業の成果を発揮する。
- ③ 大会運営等への取組みを通して主体性を涵養するとともに、リーダーの養成を図る。
- ④ 生徒と職員の交流をはかり、相互の理解を深める。
- ⑤ 山高生の行動力と統率力を保護者や地域に披露する。

(2) 実施日 予行 平成30年9月26日(水) 実施 平成30年9月27日(木)

(3) 日程 9月27日(木) 大会当日

8:00 登校(体育時の更衣教室で更衣) 8:15 SHR(体操服に更衣した状態)

8:50 招集場集合完了(半袖、短パン、はちまきはしない) 9:00 入場行進 9:20 開会式

10:00 競技開始 午前の部終了後、クラス写真撮影あり 昼食(1時間以上は確保)

13:00 運動部総行進 各部成績及び部紹介 13:30 午後の部競技開始 15:00 フォークダンス

15:20 閉会式 片付け終了後 SHR

(4) 種目並びに選手の選出方法 ( ) 内数字は人数

種目 <トラック競技男子>	<トラック競技女子>	男女人数計
100m (2)	100m (3)	(5)
200m (2)	200m (3)	(5)
800m (2)		(2)
4×100mR (4)	4×100mR (4)	(8)
4×200mR (4)	4×200mR (4)	(8) 合計(28)
<クラス競技>	<その他>	
大縄跳び(24人+回し役2人)	学年対抗リレー(各学年男女10人)	
	綱引き(各学年 男子87人 女子90人)	

(5) 成績結果

◎総合成績 優勝	2年3組(高島学級)	準優勝	3年3組(片淵学級)	2年4組(縄手学級)
○女子100m	1位 3-5宮本 瑠奈		3位 2-5鳥羽 南吹	
	2位 3-2奥藤 優菜			
○男子100m	1位 1-3宍下 蓮		3位 2-3大畑 隣乙	
	2位 1-3馬淵 健太			
○女子200m	1位 2-3中村 優花		3位 3-5小島 真珠	
	2位 2-2野崎 菜緒			
○男子200m	1位 3-3平瀬 大季		3位 3-3坂口 浩平	
	2位 3-6堀 翔貴			
○男子800m	1位 2-4矢野 翔太		3位 1-6讃岐 太貴	
	2位 2-5大谷 洸太			
○女子4×100mR	1位 2年4組	2位 1年5組	3位 1年4組	
○男子4×100mR	1位 2年4組	2位 3年1組Aチーム	3位 2年3組	
○女子4×200mR	1位 2年3組	2位 1年2組	3位 2年5組	
○男子4×200mR	1位 2年1組	2位 2年6組	3位 3年4組	

- 大縄飛び 1位 3年4組 2位 3年3組 3位 3年6組
- 学年綱引き 女子 1位 第3学年 2位 第1学年 3位 第2学年
- 男子 1位 第3学年 2位 第1学年 3位 第2学年
- 学年対抗リレー 1位 第2学年
- テーマ賞 2年4組 2年5組 1年3組
- クラス旗 1位 3年5組 2位 3年2組 3位 3年6組
- 行進 女子 最優秀賞 3年4組
- 優秀賞 3年3組 3年5組 3年6組 2年4組
- 男子 最優秀賞 3年5組 3年6組
- 優秀賞 3年4組 2年4組 2年5組
- 応援 最優秀賞 3年5組
- 優秀賞 3年6組 3年3組



**百花繚乱 ～燃えろ山高魂！～**

## 5 校内マラソン大会

(1) 目的 持久走の持つ特性を理解し、仲間と支え合いながら完走する喜びや達成感を味わうとともに、心身両面において健康的な生活を営む態度を育成する。

(2) 期日 平成31年2月8日(金)(荒天の場合は中止)

(3) 日程 1校時通常授業 8:50~9:40 1限目終了後実施

10:00 体操服に更衣して、体育館に集合完了(点呼・健康観察)

10:10 開会式 指揮 片淵 大会会長挨拶・校長 生徒代表宣誓・体育委員長 津田(2-5)

諸注意・上杉 体育館解散後ウォーミングアップ・各クラス体育委員中心に実施

<男子レース> 7.5 km 10:40 ウォーミングアップ開始 11:25 スタート地点に集合  
11:30 スタート 12:30 ゴール(最終走者)

<女子レース> 5.5 km 10:40 ウォーミングアップ開始 11:35 スタート地点に集合  
11:40 スタート 12:40 ゴール予定(最終走者) ゴール後教室に上がり、更衣をした後  
昼食をとる 13:30 体育館に集合・点呼完了、閉会式・表彰式 指揮 片淵

①成績発表・表彰 ②大会会長講評 ③その他諸連絡

女子成績					
実着順	学年	番号	氏名	タイム	
				分	秒
1	2年	2339	山田 江梨花	24	13
2	2年	2232	三輪 杏莉	24	26
3	1年	1524	白谷 萌彩	25	0
4	2年	2329	小田 沙依	25	2
5	1年	1628	平瀬 歩羽	25	10
6	1年	1530	中村 綾那	25	15
7	1年	1423	武野 真依	25	30
8	1年	1626	竹野 杏南	26	8
9	1年	1632	松本 璃羽	26	17
10	2年	2217	鈴木 莉子	26	25
11	1年	1237	矢野 綾花	26	32
12	1年	1324	小島 愛理	26	33
13	1年	1523	柴原 羽奈子	26	42
14	2年	2633	西岡 琉奈	26	51
15	1年	1418	岡住 真希	26	52
16	1年	1520	岡本 亜美	26	59
17	2年	2525	鳥羽 南吹	27	12
18	1年	1331	早川 夏生	27	27
19	1年	1517	上山 純白	27	31
20	2年	2220	竹内 杏里	27	35
21	1年	1624	新宮 実佳	27	42
22	1年	1240	吉川 由希子	27	43
23	1年	1209	岸根 凜	27	44
24	1年	1432	森元 瑞季	27	47
25	2年	2521	竹野 友海	27	52
26	1年	1630	藤多 陶子	27	54
27	1年	1217	朽尾 紅音	27	56
28	2年	2336	藤原 颯希	27	59
29	2年	2332	中村 優花	28	4
30	1年	1527	谷口 琴美	28	6

男子成績					
実着順	学年	番号	氏名	タイム	
				分	秒
1	2年	2408	下田 聖陽	26	49
2	1年	1610	藤井 祐成	26	56
3	1年	1401	出雲 光佑	27	23
4	1年	1136	吉岡 和輝	27	43
5	2年	2505	大谷 洸太	29	0
6	2年	2312	鶴田 大智	29	12
7	2年	2608	小椋 慧人	29	32
8	2年	2618	中尾 一瑛	29	40
9	2年	2121	秦 翔大	29	43
10	2年	2324	山根 龍	29	50
11	2年	2606	浦上 創一朗	30	0
12	2年	2311	谷川 朝陽	30	4
13	2年	2620	西嶋 彩人	30	4
14	1年	1309	馬淵 健太	30	5
15	1年	1111	澤田 佑真	30	13
16	2年	2513	中村 大幹	30	18
17	2年	2423	横野 正悟	30	20
18	2年	2602	井口 駿	30	33
19	1年	1512	森蔭 郁海	30	43
20	2年	2410	田谷 脩登	30	45
21	2年	2601	荒尾 貴大	30	49
22	1年	1501	生垣 駿治	30	55
23	2年	2604	猪子 明紀	31	2
24	2年	2515	畑 玲輝	31	7
25	1年	1511	森井 北斗	31	11
26	2年	2134	山村 旭	31	13
27	1年	1302	勝木 千尋	31	22
28	1年	1509	松井 陸	31	25
29	2年	2407	志野木 大輝	31	29
30	2年	2126	松村 映紀	31	45



## 6 第71回卒業証書授与式

- (1) 日 時 平成31年2月28日(木) 開式10:00(受付9:00~)
- (2) 場 所 本校体育館
- (3) 式次第 開式のことば、国歌斉唱、卒業証書授与、校長式辞、来賓祝辞、来賓紹介、祝電披露、在校生送辞、卒業生答辞、式歌斉唱、校歌斉唱、閉式のことば
- (4) 卒業証書を授与される生徒  
森林環境科学科37名 生活創造科31名 普通科151名 合計219名

### <校長式辞>

校長 原 田 尚 昭

厳しかった寒さもようやく和らぎ、揖保川の流れも軽やかに響いて、心和む今日の佳き日に、宍粟市副市長中村司様、同窓会長志水宣之様、PTA会長阿山和彦様を始め多数のご来賓、そして各ご家庭の皆様方ご臨席のもと、兵庫県立山崎高等学校第71回卒業証書授与式を厳肅、かつ盛大に挙行できますことは、本校教職員・生徒一同誠に光栄の極みにて、高い席からではございますが、心よりお礼を申し上げます。

ただ今、卒業証書を授与致しました第71回生219名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。校訓「希望・英知・敬愛」のもと、皆さんは学業に部活動にひたすら研鑽と精進を重ね、本日栄えある卒業の日を迎えられました。本校を巣立って行かれる皆さんの一人ひとりに、心から讃辞を贈ります。また、ご家族の皆様方におかれましては、深い愛情を持ってこれまで大切に守り育てて来られたご苦労が今ここに実を結んだ喜びに対し、心よりお祝いを申し上げます。

卒業生の皆さんの胸の中では、今高校時代の様々な思い出が走馬灯のように駆け巡っていることでしょう。入学直後の集団宿泊訓練、各年度の文化発表会や体育大会、北海道での修学旅行。そして勉強や部活動に懸命に取り組んだことなど、どれをとってもその時々流した汗や涙でさえ、今となっては掛け替えのない生涯の良き思い出となっていることと思います。

私自身は、皆さんと過ごしたのはこの1年間だけでしたが、今年の文化発表会で聞かせてくれた3年生諸君の素晴らしい合唱のハーモニーは今でもこの耳の中に残っています。そして、2学期の中心的行事として体育大会がありましたが、全校生が全く力を抜くことなく、全ての競技や演技に対して、出場する者も応援する者も一丸となって取り組んでくれたのですが、特に3年生諸君は、大縄跳びや綱引きという「集団の力」を要する競技で3年間培ってきた「団結力」を遺憾なく発揮し、後輩たちに素晴らしい模範を示してくれました。今にして思えば、あの時の力こそがその後現れた進路実現での輝かしい成果の前触れであったのだと確信しています。進路実現は正に団体戦。その、学年全体としての総合力を発揮してくれたのが71回生諸君でした。

部活動やその他の活動に目を転じて、同じように皆さんは青春の炎を燃やし続けてくれました。8月のお盆、3年生の頑張りを原動力とした吹奏楽部は、西播金賞と共に県大会に駒を進めて見事金賞を勝ち取り、本校近年の歴史に大いなる金字塔を打ち立ててくれました。また、3年生を中心とする男子ソフトボール部員4名が国民体育大会への出場を果たしたことに拍手を送りたいと思います。そして、12月になって「ぼうさい甲子園」で二年連続「ぼうさい大賞」、つまり高校の部での全国優勝を2年連続で頂くという快挙を為し得たことも、先輩から受け継がれてきた活動を、今の生活創造科3年生諸君が地道に続けてきたことが評価されての栄誉でした。

さて、卒業生の皆さんが本校を巣立ちゆく今年、平成31年は日本国にとっても代替わりが行われる重要な節目の年であり、4月1日に新しい元号が発表され、5月1日には現在の皇太子、<sup>なるひと</sup>徳仁親王殿下が第126代目の天皇に即位されます。皆さんが生まれてから今日まで過ごして来た「平成」という時代の意義をしっかりと胸に刻むと共に、今年行われる幾つかの儀式を目にしつつ、古代から連綿と続いて来た我が国の歴史と伝統に思いを馳せる貴重な機会として頂きたいと願っています。世界の国々数あれど、その歴史が全く途切れることなく、これ程長く続いて来た国は日本以外にはありません。加えて、この平成の時代に私たちが経験した2度の大地震の中で、混乱した状況にありながらも暴動を起こさず、長い列を作ってじっと食料品や飲料水の配給を待つ日本人の姿は、奇跡として世界中に広く紹介され、大いに称賛されたことは、皆さんもよく知っていることと思います。我が国が誇るべき点は多々ありますが、これは長い歴史の中で培われて来た、私たち日本人の「美質-美しい特質」の一つです。時代が新たな展開を示すこの年を、日本人としての誇りを再認識する機会として頂ければと念じています。

本日、本校を卒業して、明日から新たな道を歩み始める71回生の皆さんに、非常に簡単ではありますが、これからの長い人生を力強く生きていく上で大事な言葉を<sup>はなむけ</sup>餞として贈ります。それは、「上を向いて歩こう」という言葉です。昭和40年代、私たちが子供であった頃に歌手の坂本九さんが歌っていた有名な歌のタイトルですが、皆さんもあのメロディはよく知っているのではないかと思います。これからの人生、楽しいことも沢山あると思いますが、辛く苦しいことにも沢山出会うと思います。しかし、どんなに苦しくとも「上を向いて歩こう」。辛くて悲しくて、涙がとめどもなく溢れることもあるでしょう。しかし、その涙がこぼれないように「上を向いて歩こう」。若いうちは、失敗をすることが何度もあるでしょう。しかし、失敗をしても<sup>くじ</sup>挫けることなく「上を向いて歩こう」。坂本九さんは、そんな素晴らしいメッセージを歌に乗せて、私たち当時の日本人を大いに勇気づけて下さいました。残念ながら、昭和60年8月のあの航空機事故で突然お亡くなりになったのですが、私は兵庫県が主催する青年洋上大学に参加し、中国から帰って来る船の中で、日本海の上であの悲報に接しただけに決して忘れることが出来ません。簡単ですが、力強いメッセージを持つ「上を向いて歩こう」という言葉をしっかりと胸に刻んで下さい。

最後となりましたが、かつて私たち、昔の山高生が校歌として歌っていた「山崎高等学校生徒会歌」の歌詞、第3番目を朗唱し、31回生である私から71回生である卒業生の諸君へ、40年の時を経て生徒会歌に込められた山高のメッセージを伝えたいと思います。

ああ青春の <sup>まげ</sup>眉あげて      いとも栄えある 山高の  
歴史を <sup>とわ</sup>永久に 飾るべく      尊き使命 <sup>にな</sup>担ひつつ  
進む <sup>ゆくて</sup>前途に 光あれ

私たちは縁あってこの山崎高校で出会いました。3年間を共に過ごすことができたことを喜び、ここまで育てていただいたご家族の方々、陰になり日向になり支えていただいた地域の皆様方に感謝申し上げ、卒業生の皆さんのより一層の飛躍と、限りなき未来に幸多かれと願いつつ、式辞と致します。

平成31年2月28日      兵庫県立山崎高等学校 第37代校長 原田 尚昭

### <在校生送辞>

肌を刺すような冷たい外気もいつの間にか和らぎ、吹く風に春の訪れを感じられるこの佳き日に、兵庫県立山崎高等学校を卒業される71回生の皆様、ご卒業おめでとうございます。在校生一同、心よりお祝い申し上げます。

今、皆様はこの三年間の高校生活をどのように振り返っていらっしゃるのでしょうか。希望を胸にこの山崎高等学校に入学してから、早三年、かけがえのないたくさんの思い出が走馬灯のように頭に浮かんでいることでしょうか。お別れに際して目を閉じると、私たち在校生にも先輩方と共に過ごした数々の思い出が蘇ってまいります。

文化発表会の合唱コンクールでは先輩方の練習に練習を重ねた歌声は心を振るわせ、聴いている私たちに爽やかな感動を与えてくださいました。

体育大会では、全ての競技において全力で取り組み、心から喜び合う先輩方の姿はとても輝いて見えました。部活動においても、いつも先頭に立ち、リーダーシップを発揮してくださいました。必死に取り組む姿に強い憧れを抱き、いつの間にか先輩方の大きな背中を追っていました。

また、放課後、校舎を見上げると、毎日遅くまで教室に明かりが灯っていました。そのひたむきに努力する先輩方の姿は、進路希望を実現することの厳しさと、夢に向かって頑張るといふ強い意志を感じました。

この先、先輩方はそれぞれの道へ進まれるわけですが、その道のりは決して楽なものではなく、何れも大きな壁に阻まれることだと思います。しかし、そのような時こそ、先輩方がこれまで乗り越えてこられた苦難や仲間との楽しい思い出、この学び舎で身につけた知識で信念をもって道を切り拓いてください。私達在校生は、先輩方の強い友情、地道に努力する姿を手本とし先輩方の築いてこられた山崎高等学校の伝統を継承していきます。卒業後も時には母校を訪ね、私達を励ましてください。

名残は尽きませんが、卒業生の皆様のご健康とご活躍を心からお祈りし、送辞といたします。

平成31年2月28日 在校生代表 津田直季

### <卒業生答辞>

冬のたたずまいを残しつつも、山々に春の気配を感じ始めたこの良き日、私たち第七十一回生二百十九名は、晴れて卒業の日を迎えることができました。本日は、私たちのためにこのような素晴らしい卒業式を挙げていただき、誠にありがとうございます。ご来賓の方々をはじめ、校長先生、諸先生方、並びに保護者の皆様、在校生のみなさんに、卒業生一同心よりお礼申し上げます。

思い返せば三年前の四月、私たちはこの山崎高校に入学しました。まだ名前も知らない仲間たちと、これから始まる高校生活をどんなふうに通っていくのか、不安を抱えながら入学式に臨みました。そんな気持ちを打ち消してくれたのは、生徒会執行部の方々による校歌斉唱でした。先輩方の凛とした姿に憧れ、私も生徒会に入ろうと早くも心に決めました。

オリエンテーション合宿があった一年生。プログラムの一つにあった校歌斉唱では、バスの中や空いた時間を見つけて練習し、本番では緊張しながらも、精一杯練習の成果を出し切りました。また、あいにくの雨で Катター体験はできませんでしたが、大縄跳びや集団行動を通して、クラスの仲間とは一気に団結することが出来ました。

行事で大活躍した二年生。体育大会では生徒会執行部をはじめ、体育委員を中心に準備を進め、競技ではどの学年も迫力のある闘いを繰り広げました。先輩たちにも立ち向かっていく仲間の姿は大変

誇らしく、七十一回生が優勝と準優勝を手に入れました。綱引きでは、あまりの迫力で綱が切れてしまうといったハプニングが起きましたが、幸い怪我人も出ず、観客の皆さんには私たちの競技に取り組む真剣さが伝わったと思います。

そして一月、待ちに待った修学旅行。ゲレンデの中にそびえ立つ、大きな二つのタワーと美しい雪の世界に迎えられた私たちは、高まる興奮を抑えることが出来ませんでした。初めて触れるパウダースノーに驚き、スノーボードが得意でなかった私でも、インストラクターの方のご指導の下、上達することが出来ました。最終日には悪天候のため、一部の生徒が乗ったバスが遅れるというアクシデントもありましたが、多くの方々のサポートのおかげで、全員で無事帰宅することが出来ました。山崎に向かう帰りのバスでの寂しさも含めて、すべてがみんなとの一生の思い出となりました。

そして三年生。一日一日が、忘れることのできない、とても充実した一年間でした。

最後の文化発表会。最優秀賞獲得を目標に、毎日必死に取り組んだ合唱練習。数少ないステージ練習を無駄にしないよう、一回一回の練習を本気で取り組みました。歌が得意な人がパートリーダーとなり、率先して音程を引っ張ってくれたおかげで見事予選を突破し、本番ではみんなの気持ちが一になった素敵な合唱ができました。目標としていた最優秀賞を獲得することができたときは本当に嬉しくて、お互い支えあって乗り越えてきた猛特訓の日々はかけがえのない宝物となりました。

また、各クラスの個性が溢れた模擬店や、ダンス・物真似・漫才・バンドなど、様々な種類の有志ステージで賑わったほか、全クラスが自分たちでデザインしたTシャツを着用するなど、例年にない盛り上がりとなりました。

私は、生徒会執行部としても多くの行事に携わりました。学校行事では進行がスムーズにいくように本番の一ヶ月以上前から準備に取り組み、学校中を走り回りました。決して楽しいことばかりではなく、まさに裏方の仕事に追われることもあった執行部でしたが、尾西先生、櫻井先生のご指導の下、十一人のメンバーで様々な行事を成功に導くことができたのは私の大きな誇りです。

在校生のみなさん、頼りにならないこともあったでしょうが、こんな私たちについてきてくれてありがとうございます。これから進学や就職など悩み事も増えていくと思いますが、一人で悩まず、必ず友達や先生に相談してください。そして、この山崎高校をさらに素晴らしい学校になるよう発展させていってください。

今まで私たちを温かく、時には厳しくご指導くださいました先生方、本当にお世話になりました。特に担任の先生をはじめ、学年団の先生方には迷惑をかけっぱなしでした。私たちが道をそれることなく真っ直ぐに前へ進むことができたのは先生方のおかげです。本当にありがとうございました。

十八年間ずっと側で見守ってくれた家族へ。毎日のお弁当、雨の日の送り迎え、精神面でのサポートなど、いつも私たちを支えてくれて本当にありがとうございました。故郷から遠く離れて暮らしても、私たちの心のよりどころは家族がいる我が家です。これからも迷惑をかけることもあるでしょうが宜しくお願いします。

最後に大好きな友達へ。三年間充実した毎日を過ごせたのも、いつも側にいてくれた友達のおかげです。昼休みにみんなで弁当を食べたことや、放課後に残ってテスト勉強をしたこと、目を閉じると数々の大切な思い出が、まるで昨日のここのように蘇ってきます。辛い時に一番近くで励ましてくれ、私を笑顔にしてくれた友達は、新しい道をそれぞれ歩いていってもずっと繋がっていたい大切な存在です。友達には心から感謝しています。

同じ教室で、たわいもない話をして笑い合った日々も今日で終わりです。これから先、人生の岐路に立つたび、どちらに進んでいいのかわからず立ちすくんだり、何をやってもうまくいかずに悩んだり、挫折感や孤独感を味わったりすると思います。そんな時でも、楽な道を選んだり逃げたりせずに、困難なことにも立ち向かっていきたいです。山崎高校での経験を糧に、これから歩いていく道でも、誇れる自分の軸というものを形作っていきたいです。

最後になりましたが、本日ご出席くださいました皆様のご健康とご多幸、そして、山崎高校の益々のご発展を心よりお祈りし、答辞とさせていただきます。

平成31年2月28日 兵庫県立山崎高等学校 第71回卒業生代表 露本紗菜



### Ⅲ 各学科の取り組み



#### 1 普通科教育類型

##### (1) 情報モラル講演会

- ① 目的 情報モラルが近年では注視されるが、情報ネット社会で活躍する講師の方を招き、講演を聴くことによって、生徒の情報モラルを高め、ネットトラブルに巻き込まれることなく、自分の情報を守る力を身につけさせる。
- ② 日時 平成30年4月26日(木) 6限
- ③ 場所 同窓会館
- ④ 講師 N I T情報技術推進ネットワーク株式会社 嶋田 亜紀 氏
- ⑤ 参加者 1年生(211名)
- ⑥ 生徒の感想文から



- ・今までスマホやSNSの講演会を聴いたことがありましたが、今回、スマホの設定の仕方など身近に起こる危険を少しでも防ぐためにしておいた方が良くことや使い方を詳しく学びました。また、スマホを長時間使用していると成績も下がる話を聞いて、利用の仕方とも考えようと思いました。
- ・LINEの設定で友達を自動追加にしていると、知らない人が入ってきたり、ブロックしても削除しても消えないことがあるのでとても怖いと思いました。また、位置情報にも気をつけないとGPS機能で自分の居場所や住所がわかってしまうので設定には気をつけたいと思いました。多くの人が情報モラルに気をつけてSNSを利用して欲しいと思いました。

##### (2) 山崎小学校授業見学及び交流

- ① 目的 小学校授業見学及び給食補助や交流を通して、教員になりたいという夢を具体化し、夢に対する「やる気」を「本気」に引き上げていく。
- ② 日時 平成30年6月7日(木)
- ③ 場所 宍粟市立山崎小学校
- ④ 対象 73回生1年生普通科教育類型 20名 職員 3名
- ⑤ 生徒の感想文から



- ・私は1年生の教室の見学に行きました。国語の授業を見学して、先生は、1年生が理解できるようにゆっくり話したり、分かりやすく話していたのが印象的でした。1年生の子たちは、最初の方は、集中して、教科書を見ていたけど、時間が経つにつれて、違うページを開いたり、友達と遊んだり、鉛筆や消しゴムで遊んだりしてきて、1年生は集中力がないことが分かりました。他にもみんなの本読みをしているときに、読めなかったり、できないことがあったりすると、怒ったり、泣いたりしてやはり小さい子供と接することは、とても難しいと思いました。でも1年生の子ががんばって授業を受けている姿を見て私もはやく教育の仕事につきたいと思いました。
- ・教室がざわついているときは、あえて注意せず、静かになってから授業をするということです。このようにすることで一人一人が集中して先生の話の聞くことができると思いました。また、授業についていきづらい子にはアドバイスをすることで全員が授業に参加できることが分かりました。そして、私が一番先生が工夫されていると思ったところは、できている人のことを褒めることです。そうすることで、全員が褒められている人のまねをしようとするので、授業もスムーズに進められるということも分かりました。

### (3) 山崎幼稚園授業見学及び交流

① 目的 幼稚園授業見学及び昼食補助や交流を通して、教員になりたいという夢を具体化して、夢に対する「やる気」を「本気」に引き上げていく。

② 期日 平成30年7月12日(木)

③ 場所 宍粟市立山崎幼稚園

④ 対象 2年生普通科教育類型18名 職員2名

⑤ 生徒の感想文から

・園児たちの動きは、先生の指示をしっかりと聞いてやること、途中で止めてしまう子もいた。片付けの時も動きは速い子と遅い子がいた。一人一人違いがあることを改めて感じました。

・分かりやすく伝えることが大切だと感じました。園児は私たちが普段使っている言葉が理解できないことがわかり、また喋り方も工夫しないとすぐに注意が逸れてしまうことがわかりました。

・私は将来、保育士になりたいと考えているので、今回幼稚園見学をさせてもらって本当に良かったです。園児たちの行動や先生の行動が分かったし、大切なことも実感できた。



### (4) アース製薬見学

① 目的 西播磨地区で世界規模での販売経営を展開している企業を見学し、その歴史に触れることにより、進路を考えるための材料とする。また推薦入試等の志望理由書作成時の動機づけのヒントにもなり、進路実現に向けて学習意欲を高める。

② 日時 平成30年7月25日(水) 11時～17時

③ 場所 アース製薬(赤穂市坂越)

④ 対象 2年生5組・6組(教育類型18名と理系選択者24名)42名 職員2名

⑤ 生徒の感想文から

・今回のアース製薬の見学で今まで避けていたゴキブリについて、しっかり見ていろいろなことを知ることができました。ゴキブリにも色々な種類があり、世界最大のゴキブリは羽が無く、触れると鳴くので普段我々が知っているゴキブリとは相当違いました。またゴキブリは下から上には飛ぶことができなくて、走る速さは大きさを人間にたとえると新幹線並であることを知りました。ただ扶助する方法を考えるだけでなく、害虫についてしっかりと研究しているところがすごいと思いました。

・工場見学で驚いたことは、内部に虫の飼育室があったことです。普段見慣れない生き物もいました。ゴキブリを育てるのは抵抗がありますが商品開発のためだと知り、すごいと思いました。

・モンダミンを作っている工場の商品ができるまでの過程を見学しました。完成までの作業はすべて機械で行われおり、5人ほどしか機械周りに人はいませんでした。この工場では全国のモンダミンが作られていると思うと機械の効率はすごいと思いました。このような企業には、製品そのものを改良したり開発する研究と、製品を作る機械を設計する技術が求められていると思いました。



## (5) 自然体験実習

- ① 目的 自然体験を通して、仲間づくり・チーム作りについて学び、将来地域のリーダーとして活躍できる資質を育成する。これは、「教育実践Ⅰ」の授業の一環である。
- ② 期 日 7月30日(月)～31日(火)    ③ 場 所 いえしま自然体験センター
- ③ 対 象 1年生教育類型生徒19名
- ④ 内 容 チーム作りアクティビティ、夕食づくり、キャンプファイヤー、夜の海探検、シーカヤックによる海探検、まとめのアクティビティ等
- ⑤ 生徒の感想文から

・自然体験実習を終えて、班のみんなと協力して活動できてとても楽しかったし、がんばることができました。アクティビティでは、遊びを通して、みんなで教えあったり、たくさんコミュニケーションをとって、この子はこんな子だったんだとか、新しいみんなを知ることができてよかったです。夜の海観察では、初めて見た植物や動物を見て、すごく感動しました。一泊二日の短い間だったけど、教育類型のみんなと活動ができて、とても楽しかったし、仲よくなれたのでよかったです。学べたこともたくさんあったので、今後の生活や将来に役立てていこうと思いました。



## (6) 氷ノ山登山

- ① 目的 ア 協力して山頂を目指すことで、忍耐力や協調性を培い、仲間との連帯感を深めさらに達成感を味わう。イ 地元の自然の良さを再認識し、郷土に対する関心・愛着をもつ契機とする。ウ 将来、生徒児童を引率する立場になることも意識し、指導者の目線でもこの登山に参加する。
- ② 期 日 平成30年10月20(土) 7時30分～17時
- ③ 場 所 山崎高校→坂ノ谷登山口→氷ノ山三の丸→  
氷ノ山山頂→わかさ氷ノ山キャンプ場→山崎高校
- ④ 講 師 宍粟50名山ガイドクラブ会長 福田 浩也 氏  
(10月11日(木)の事前学習もお世話になった。)
- ⑤ 生 徒 1年生教育類型20名 引率職員5名
- ⑥ 生徒の感想から

・今回の登山で、僕はサブリーダーの仕事がありました。教員になれば、生徒が「とても楽しかった。」と言ってくれるように頑張る必要がある、自分が引っ張っていかないといけないのだと自覚させられました。

・いつになったら着くんだろうと思いながら登りましたが、諦めたら意味がないと思い、なんとか頂上まで登ることができました。頂上はとても寒かったですが、景色はとてもきれいで、絶景でした。



### (7) 高大連携兵庫教育大学体験プロジェクト

- ① 目的 兵庫教育大学の施設および講義の見学や、在学中の先輩との交流により、大学の雰囲気を経験し、将来の目的を持った大学選びができるようにする。
- ② 日時 平成30年11月8日(木) 8:30~16:30
- ③ 場所 兵庫教育大学 共通講義棟 211 教室等
- ④ 対象 2年生教育類型生徒18名 文理科学類型文系生徒38名 引率職員 2名
- ⑤ 生徒の感想から

- ・大学の授業は、思っていたよりもわかりやすく、引き込まれてしまい、40分がすごく短く感じました。もっと、できれば最後まで授業を受けたかったです。
- ・図書館では、ボタンで棚が動くのを見ました。教育に関する本がたくさん置かれていて、高校とは比較にならないと感じました。また、自習するスペースが充実していて、声を出して議論することも許される場所もあり、よく考えられていると思いました。



### (8) 「高校生のためのストレスマネジメント」講演

- ① 目的 高校生活をより充実したものにするためにストレスとの付き合い方について学ぶ。
- ② 日時 平成29年11月22日(木) 15時25分~16時15分
- ③ 場所 同窓会館
- ④ 講師 兵庫教育大学大学院教授 藤原 忠雄 先生
- ⑤ 対象 1年生5・6組 (含教育類型20名) 職員5名
- ⑥ 生徒の感想文から

- ・教師をやっているから「ストレス」は本当にたくさんたまると思うから、それに自分がどう対処するかが大切だと分かりました。呼吸法だけでも気持ちがだいぶ落ち着いて、簡単にできることでもだいぶ違うんだなと思いました。人のせいばかりにせず、どうすれば自分の気持ちを整理できるようになるのかを考えられる機会になりました。
- ・私はストレスを抱えやすいので、落ち着く方法を知れてよかった。ストレスは悪いことだけではなく、良いこともあることが分かった。これからストレスと上手に向き合おうと思った。



### (9) スキー実習

- ① 目的 ア 地元宍粟市の自然資源であるスキー場で体験活動をすることで、雪に親しみ、地元の自然を見直す機会とする。イ 日常ではあまり経験することができないスノースポーツにチャレンジすることで、各自の新しい能力を発見する機会を与えるとともに、新たなことを「習う」楽しさや難しさを体験する機会とする。ウ 将来、生徒児童を引率する立場になることを意識し、指導者の目線でも、このスキー実習に参加する。
- ② 日時 平成31年1月28日(月) 7時30分~17時
- ③ 場所 ちくさ高原ネイチャーランド
- ④ 参加者 教育類型 18名 (男子6名、女子12名) 引率教員 … 3名
- ⑤ 費用 約7,000円/人 (リフト券、レンタル料、昼食、保険料等)

⑥ 講師 藤井明美氏、藤井純子氏、山下達也氏 (全日本スキー連盟公認指導員)

⑦ 生徒の感想から

- ・スキー実習の前はスキーの知識など何も知らず、何もすることの出来なかった私ですが、講師の方の話をよく聞いて、一つひとつの動作を慎重に行うと、少しずつ滑れるようになって嬉しかったです。何度も同じ事をして自分に覚えさせる事の大切さを改めて感じる事ができました。
- ・初めてのことばかりで難しく苦戦しました。でも、何度も練習しているうちに段々と止まれるようになり、完全に止まった時はとても嬉しくて達成感がありました。方向転換の練習をして、その練習でスムーズに滑ることができたのでとても嬉しかったです。自分が教師になった時に、講師の方がして下さったように、児童・生徒が楽しみながら上手になれるようにしたいと思います。



#### (10) 山崎小学校授業実習

- ① 目的 小学校での授業実習を通して、教員になりたいという夢を具体化して、夢に対する「やる気」を「本気」に引き上げていきます。
- ② 日時 平成31年2月4日(月)
- ③ 場所 宍粟市立山崎小学校
- ④ 対象 2年生普通科教育類型18名 職員3名
- ④ 内容 小学校5年生に対して、英語班2班と国語班算数班1班ずつ合計4班に分かれて授業を行った。英語では would you like ~の活用について、国語は敬語の使い方について、算数は小数のかけ算と分数の足し算かけ算について授業をした。去年はグループで行ったが、今年は基本的に一人で授業し、他の生徒は助手程度のサポートにとどめるという形式で行った。
- ⑤ 生徒の感想から
  - ・今回は基本的に1人で授業を進め、残りのメンバーは補助で入ることだったので、本当に大変だった。でも、児童の皆さんが熱心に聞いてくれて、一生懸命対応してくれたので本当に楽しくできた。また、残りのメンバーも積極的にサポートしてくれたので、非常に助かった。
  - ・去年の経験から、やはり今年は少し落ち着いてできた。小学校の校長先生から、成長していると褒めてもらえて、本当に嬉しかった。



## 2 森林環境科学科

### (1) 平成30年度経営方針

#### ① 経営方針

- ア 森林の生態系を活かせる森林創造とその構成樹種の生育について学び、森林を総合的に利用していく専門的な知識や能力を持った心豊かな生徒の育成
- イ 森林資源の多様な利用を図る専門的な知識と能力を持った開発精神の富んだ生徒の育成

#### ② 専門教育の方向

- ア 演習林地の針広混交樹林再生への取り組み
- イ 豊かな森林環境教育への取り組み
- ウ 地域社会に貢献できる森林環境教育への取り組み
- エ 多様な森林資源利用を目指した作品製作への取り組み

### (2) 重点目標

- ア 進路指導の徹底と進路保障への取り組み
- イ 家庭と連携を密にした教育活動への取り組み
- ウ 農場・裏山・演習林を活用した実験実習を中心とする教育指導への取り組み
- エ やる気・根気・誠実さのある、規律正しい生徒育成への取り組み

### (3) 具体的な取り組み

#### ① 取り組みの重点

- ア 学力補充や進路保障の観点からの補習
- イ 農業と環境、課題研究、総合実習等における農場・裏山・演習林の活用
- ウ 地域や関連機関との交流並びに体験的研修への取組み
- エ 清掃活動の徹底
- オ 新農場樹木園再生計画への取り組み
- カ 新しい木工作品開発への取り組み

#### ② 実施計画

- ア 演習林実習 3年生：6月 2年生：10月 1年生：5月・3月
- イ 就業体験（インターンシップ）事業 2年生：8月
- ウ 演習林における植林実習：樹種（スギ・ヒノキ・ケヤキ、クヌギ、コナラ等）
- エ 地域貢献事業の実施（公共施設の環境整備、里山講座の開設）
- カ 国有林・関西育種場・兵庫木材センターなど関連機関・企業の見学
- キ 林業講座の実施（兵庫森林管理署、農政環境部・営林緑化労働基金との連携）
- ク 特別非常勤講師・ひょうごの達人招聘事業による専門教育の充実
- ケ 菅野農場の管理
- コ 資格講習・検定の実施

### (4) 平成30年度の組織

農場長：妹尾、科長：西川、教科主任：吉田、農水産顕彰制度委員：奥田、  
農業クラブ顧問：合田・奥田（校内）、インターンシップ担当：合田（西川）、  
情報システム管理委員：奥田、1年担任：吉田、2年担任：合田、3年担任：奥田、  
生徒指導：妹尾・西川、農場：妹尾・尾西・藤澤、安全運転管理者：西川  
演習林管理及び計画：妹尾・尾西・藤澤・西川・大永・合田・吉田・奥田  
自動車管理者：西川 普通貨物自動車：西川 マイクロバス：妹尾、  
整備管理責任者：妹尾・藤澤、資格講習：妹尾・尾西 情報処理関係検定：奥田、  
日本農業技術検定：合田

(5) 本年度の取り組み

① 演習林実習（1年生）：平成30年5月21日（月）～25日（金）

入学して1ヶ月半、初めての演習林実習。掃除・食事の配膳・入浴などの日課にとまどいながら、学級全体での集団生活から仲間作りや協調性を養うことができた。実習内容は演習林への進入路の補修や下刈り鎌の研磨練習、使い方を学び下刈りの実践をした。また、演習林1周の登山から本校が所有する演習林の広さを体感し、樹種の違いや植生を学ぶことができた。



道の補修



下刈り実習



登山

② 演習林実習（3年生）：平成30年6月18日（月）～22日（金）

今回の演習林実習は3年生にとっては最後の演習林実習。実習内容は、刈払機を使った草刈り、ジャケツイバラの除伐作業、鋼鉄ワイヤーロープの修繕技術の習得、チェーンソーを使った登山道の倒木処理と修復、鹿柵の修繕を行った。



出発式



ワイヤーロープの修理



山頂にて風倒木撤去・鹿柵の修理

③ 演習林実習（2年生）：平成30年10月22日（月）～26日（金）

学校で出発式を行った後演習林に出発。1日目はスギの枝打ちや刈り払い機を使った草刈りを行い、2日目はスギの枝打ち、除伐作業、炭焼きの材料となるコナラの伐採を行った。3日目・4日目はコンパス測量や測樹、土壌調査を行い、5日目は除伐作業を行った。宿舍の生活ではクラス全員で同じ釜の飯を食べ、入浴や夜の学習、掃除などの日課を協力して行い、協調性を身につけた。



出発式



スギの枝打ち作業



除伐作業

④ 演習林実習（1年生）平成31年3月1日（金）・4日（月）～7日（木）

今回は、特用林産物であるシイタケの植菌を主に体験た。コナラの原木にドリルで穴をあけ、シイタケの菌を打ち込み、菌栓でふたをして日陰（ほだ場）で仮伏せして置く。菌は2年間かけて樹皮の内側に蔓延し、生徒が3年生になる秋に収穫を迎える。また、昨年使用したほだ場の補修や除伐作業も行った。5月の演習林実習と比べて実習に励む姿もさまになり、団体生活における協調性もさらに身につけてきた。この体験を通して林業への興味・関心も高まり成長できた。



原木にドリルで穴をあける →



菌棒を使って菌を打ち込む



ほだ場の補修



ジャケツイバラの除去



夜の学習時間



朝の点呼・体操

⑤ 課題研究発表会

平成31年1月23日（水）2限～6限に同窓会館で平成30年度森林環境科学科3年生の課題研究発表会を実施した。1人1テーマを設け、昨年2月から約1年間取り組んだ研究内容をプレゼンテーションソフトを活用して全員が発表した。主な活動の分野は、木工品の製作や環境、生物調査や樹木調査などで、自らが取り組んだ課題解決の内容を堂々と発表し、1・2年生が見学した。



<発表テーマ一覧>

順	開始時刻	コース	名 前	出身中	テーマ
1	10時05分	C	小倉 裕晴	山崎東	林道づくりに挑戦
2	10時12分	B	田上 拓也	山崎東	部活の長机製作
3	10時19分	C	織金 遼	山崎東	裏山の生態調査
4	10時26分	B	爲國 侑暉	山崎東	子ども用のイス・机製作と販売
5	10時33分	C	衣笠 聖	山崎東	裏山の地図作り
6	10時40分	A	鳥羽 剛志	山崎西	部活の物置台製作
7	10時47分	C	川原 一希	山崎西	販売用本棚の製作
8	10時54分	C	福居 寛将	山崎西	部活のヘルメット置き製作
9	11時01分	A	中田 龍磨	山崎西	ゴミ箱製作と販売
10	11時08分	B	三村 怜央	山崎西	部活の収納棚製作
11	11時15分	B	西村 優斗	山崎南	自転車ラックの改良
12	11時22分	C	光岡 大輝	山崎南	裏山の毎木調査
13	11時29分	C	梅岡 斗希	山崎南	木の食器作りと販売
14	11時36分	C	白石 晴也	山崎南	裏山のコンパス測量
15	11時43分	C	鶴川 翔	山崎南	ビオトープの管理と水質調査
16	11時50分	A	田中 大樹	山崎南	花台作りと販売
17	11時57分	B	佐々木 悠斗	夢前	オリジナルマグネット作りと販売
18	12時04分	A	八木 大翔	新宮	木のおもちゃ作り
19	12時11分	A	清名 孝太	新宮	木の実の標本作り
20	12時18分	B	宗重 弘人	新宮	部室の机作り
21	12時25分	B	高田 匠	新宮	施肥の違いによる作物生育の比較
22	12時32分	A	吉川 逸斗	龍野東	部活のトンボを作る
23	12時39分	B	高松 仁	龍野東	教室の時間割表作り
昼 休 み					
24	13時25分	A	柴原 幸大	一宮南	オリジナルまな板の製作と販売
25	13時32分	A	松本 颯太	一宮南	本棚製作と販売
26	13時39分	B	服部 峻生	一宮南	部活のイス作り
27	13時46分	A	橋本 仁之介	一宮南	季節に応じた木工品の製作と販売
28	13時53分	A	木村 涼	一宮北	小物入れの製作と販売
29	14時00分	A	尾原 笙太	安富	つるを用いた小物入れ作り
30	14時07分	B	岡本 拓巳	安富	販売用の箱作り
31	14時14分	C	魚田 遥来	安富	コンパニオンプランツを用いた野菜栽培
32	14時21分	A	橋 勇輔	安富	組み立て型の棚の製作と販売
33	14時28分	B	高森 礼央	安富	ビオトープの管理と生物調査
34	14時32分	A	中村 岳仁	安富	オリジナルマグネット作り・ペン立ての製作・販売
35	14時42分	B	矢野 将寛	林田	ゴミ箱・本棚の製作と販売
36	14時49分	B	二木 聖斗	林田	校内のペットボトル用ゴミ箱作り
37	14時58分	A	福嶋 廣斗	林田	インテリア棚作りと販売

⑥ インターンシップ（就業体験実習）

ア 日 程 平成30年7月30日（月）～8月5日（日）のうちの5日間

イ 壮行会 7月26日（木）

ウ 内 容 5年前から2年生が夏季休業中に宍粟市または近隣の林業を含む農業関連産業で就業体験を継続して行っている。本年度は35名が趣旨にご理解・ご協力いただいた23事業所で働くことの意味・やりがいを学んだ。生徒は、4月から電話のかけ方や自己紹介、打ち合わせの練習をし、事前の打ち合わせも本人たちで行った。



教頭先生から名札をかけて頂き激励



生徒代表あいさつ

就業体験のようす



<体験にご協力いただいた事業所一覧>

	氏名	事業所(敬称略)
1	新玉 伊織	兵庫県立国見の森公園
2	池江 豪基	八幡建設株式会社
3	石原 翔馬	株式会社 神名工務店
4	市川 瑞樹	ゆめさきの森公園
5	井藤 聖嗣	JA兵庫西 旬菜蔵 山崎店
6	植村 風那	株式会社エコーブ近畿やすとみ店
7	小椋 創太	株式会社 マルタニ
8	小野 元之	JA兵庫西 旬菜蔵 たつの店
9	北川 凌	姫路市役所 公園緑地課
10	清瀬 颯人	兵庫県立農林水産技術総合センター 森林林業技術センター
11	久保 澄天	衣笠木材株式会社
12	小林 達人	柴原製材所 本社工場
13	近藤 守良	どい動物病院 龍野エルザ
14	進藤 尚	しそう森林組合
15	橘 勇輝	姫路市役所 公園緑地課
16	田中 龍心	農事組合 安富ゆず組合
17	仲嶋 祐雅	農事組合 安富ゆず組合
18	中畠 裕貴	ゆめさきの森公園
19	西村 和真	グリーン工房いなざわ
20	西村 京	ハリマ木材工業
21	秦 翔大	株式会社 マルタニ
22	平野 東颯	衣笠木材株式会社
23	藤本 恭輔	独立行政法人家畜改良センター兵庫牧場
24	前田 翔汰	衣笠木材株式会社
25	前田 龍生	たつの森林組合
26	松村 映紀	協同組合兵庫木材センター
27	三浦 大陸	株式会社 マルタニ
28	三木 祐人	株式会社クワちゃんハウス
29	宮脇 拳矢朗	中はりま森林組合 姫路支所
30	森蔭 風雅	株式会社 しそうの森の木
31	森下 滉平	八幡建設株式会社
32	山口 涼	グリーン工房いなざわ
33	山田 春樹	兵庫県立国見の森公園
34	山村 旭	兵庫県立農林水産技術総合センター 森林林業技術センター
35	山本 蓮	JA兵庫西 旬菜蔵 山崎店

<インターンシップ報告会>

10月30日(火)3・4限 森林環境科学科棟にて2年1組インターンシップ報告会を実施した。最初に2学年主任の長田先生からご挨拶をいただき、引き締まった緊張感の中、7月30日～8月3日のうち5日間、23事業所にお世話になった就業体験内容を各生徒がPower Pointを活用して堂々と発表し、1年生が見学をした。5日間の体験により生徒が一回り大きく成長したことを実感した。



2学年主任長田先生挨拶



生徒発表のようす



⑦ 西はりま特別支援学校との交流

ア 6月1日(金)に3年森林環境科学科の生徒が、本校林産機械加工室において西はりま特別支援学校高等部の生徒との第1回目の交流授業として一緒に木材加工を行った。本校生徒が先生役となり、来年干支「亥」の置物製作を通じて交流ができた。



イ 11月16日(金)に森林環境科学科と西はりま特別支援学校との2回目の交流授業を行った。今回は、3年1組Bコースの生徒が西はりま特別支援学校を訪れ、学校施設の見学をさせていただいた後、一緒に木材加工を行った。見学では、体育館や廊下、教室の構造に突栗材が使われており、林業を学ぶ生徒は大変興味を持って見せていただいた。木工作業では、ミニ黒板の製作を一緒に行った。1学期に糸鋸細工を一緒にした生徒同士がペアになり黒板塗料を塗り、釘を打ったりと楽しい時間を共に過ごし、良い作品ができた。お互いに思い出に残る良い一日であった。



体育館の見学で感動!



ミニ黒板を製作中



完成♪

## ⑧ 販売実習

10月21日(日)に明石公園で開催された第40回兵庫県民農林漁業祭に出店し、販売実習を行った。1年生から3年生まで13名の生徒がお客様とコミュニケーションをとりながら、自分たちが手掛けた木工作品をたくさんの方に買っていただいた。最初は緊張していたものの、次第に接客にも慣れ、笑顔であいさつ、お礼を言える姿に成長を感じた。「少しでも多くの方に実栗材の木のぬくもりを伝えたい」をテーマに今年度は県下各地で10回の販売イベントを行った。



## ⑨ その他

### ア 第66回兵庫県学校農業クラブ連盟大会(佐用文化情報センター・山崎高校)

7月24日(火)・25日(水)、本校は、8名(3年生6名・2年生2名)の生徒がプロジェクト発表会Ⅲ類に、1名(3年生)が意見発表会Ⅲ類に出場した。また、本校が事務局を務めた農業鑑定競技会測量の部には8名(3年2名・2年生5名・1年生1名)が出場。7月18日に行われた測量競技会平板の部に3名(2年生)、セオドライトの部に3名(3年生)が出場し、審査の結果、測量競技セオドライトの部で優秀賞を受賞した。



開会式(佐用文化情報センター)



プロジェクト発表Ⅲ類



意見発表Ⅲ類

### イ 県庁緑化展示

7月31日(火)兵庫県庁にて緑化作品を製作・展示した。この事業は、県下12校の農水産高等学校が、一ヶ月ごとに各校の特徴を活かした作品を展示する活動で、本校は、例年、草花の少ない8月を担当し、木材を活用した作品を作っている。今年度は「森の教室」をテーマに、切り株の周りに板材で斜面を作り、乾燥に強い「セダム」と「竜のひげ」、「水苔」で森を再現した。



セダム・竜のひげ・水苔で自然を表現



全体の様子

### ウ 国有林見学（1年生）

11月1日（木）に1年1組の生徒たちが森林管理署の方に案内していただき音水スギ・ヒノキ・トチノキ遺伝資源希少個体群保護林の見学をした。樹齢254年の宍粟スギを見せていただき、その麓でお弁当を食べた。紅葉が最もきれいな時期なので壮大な自然に驚きとてもいい勉強になった。また、高性能林業機械を見せていただいた。



### エ 国有林見学（2年生）

11月15日（木）、2年1組生徒が宍粟市波賀町にある深山国有林の見学を行った。1年生に続き、兵庫森林管理署のご協力により、午前中は波賀の宍粟森林組合の職員の方にご指導いただき、コンテナ苗の植樹体験をさせていただいた。午後は、一宮の宍粟森林組合の職員の方が操作される高性能林業機械による造成現場を見学させていただいた。コンテナ苗や高性能林業機械（プロセッサ・フォワーダ・グラブ）など最新の技術を取り入れた林業のあり方を体験させていただき、林業を学ぶ生徒にとって今後の学習に活かせるとともに、進路選択の一つとして考える大変意義のある時間を提供していただいた。



国有林の説明



植樹の指導



植樹中



プロセッサの見学



機械の構造に夢中

### オ 2年1組校外学習－11月20日（火）コースごとに校外学習を行った。

#### <兵庫木材センター>

木材加工を学ぶBコースは宍粟市一宮町にある協同組合兵庫木材センターを見学させていただいた。同センターは、近畿で最も規模が大きく、全国でも10番目を誇る施設であり、原木（丸太）から製材までを様々な部署が管理をされており、生徒は各部署の大型機械やオペレーターの方の熟練の技術に感動しながら勉強させていただいた。



<関西育種場見学>

森林環境を学ぶ A コースと進学希望の C コースは岡山県にある国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所関西育種場を見学させていただきました。研究施設の説明をはじめ、花粉症対策品種やマツノサイセンチュウ抵抗性品種など優良な林業用品種の改良と育種について教えていただきました。また、卒業生の方からもお話を伺い、進路についても考える良い機会となった。



マツノサイセンチュウの実物を顕微鏡で見せていただいた。

カ 林業の仕事PR活動事業ー1 1月27日（火）3・4時間目

この事業は公益財団法人兵庫県営林緑化労働基金が主体となり、兵庫県農政環境部農林水産局林務課、地域の林産企業のご協力のもと平成27年度から今年で4回目である。3時間目は全員を対象に林務課の方から兵庫県の森林・林業の概要説明や林業の仕事に関するビデオ学習を行った。4時間目は類型別に分かれ、Aコース（森林環境）は、しそく森林組合の卒業生に高性能林業機械を活用した仕事内容についての説明があった。また、Bコース（林産加工）は衣笠木材株式会社の2名の卒業生による集成材などの加工方法や特徴を実物を使って説明していただいた。Cコース（進学）は、林務課の黒川さんに公務員林業職の仕事内容について説明していただいた。



原田校長先生挨拶



全体会



Aコース森林組合先輩の講義



Bコース 衣笠木材先輩の講義



Cコース林務課の黒川さんの講義

キ 資格講習－12月25日（火）・26日（水）

コベルコ教習所ご協力のもと、高所作業車（10m未満）の資格取得講習会を行い、1・2年生の希望者21名が資格取得に取り組んだ。加えて、夏休みに実施した刈払機取扱作業者（31名取得）、大径木伐木（チェーンソー）（31名取得）など多くの生徒の積極的な取り組みが見られた。



ク 単位学校農業クラブ第2回総会－平成31年1月24日（木）4時間目

2F 製図室にて第2回学校農業クラブ（単位クラブ）総会を開催した。教頭先生からの挨拶、単位クラブ3年生会長の挨拶の後議長を選出し、執行部役員から本年度の事業中間報告、会計中間報告を行った。また、来年度の新役員を選出に2年生5名・1年生5名が立候補し選挙を行った。



篠原教頭先生挨拶



現執行部役員と議長



事業中間報告と計中間報告

### 3 生活創造科

#### (1) 経営目標

- ① 専門学科に学ぶ喜びと誇りを持たせ、生徒一人一人の特性・学力を最大限に伸ばす。
- ② 様々な校外活動を通して、人と関わる力、地域を支える力、郷土を愛する心を育む。
- ③ 進路実現を果たせるよう、充実したキャリア教育を行う。

#### (2) 具体的な取り組み

##### ① 取り組みの重点

##### ア 基礎基本の徹底

返事、挨拶、言葉遣い、提出物、掃除など、生活面・学習面での基本がしっかりと身につくまで指導する。

##### イ 学校家庭クラブ活動の活用

兵庫県家庭クラブ連盟事務局担当を、生徒の社会人基礎力を伸ばすチャンスにする。

##### ウ 新たな魅力づくり

進化し続ける「世界一の生活創造科」を目指し、志を常に高く持つ生徒を育てる。同時に、魅力ある新たな学科に向けて研究・検討する。

#### (3) インスパイア・ハイスクール事業計画

- ① 高校生レストラン    ② 地域の食育    ③ 山高街の駅    ④ 和の文化の学習

#### (4) 年間行事計画

4	介護職員初任者研修開始 食品衛生講習会 家庭クラブ週間 家庭クラブ総会	8	配食弁当講習会（上旬） 県家庭クラブ指導者養成講座・研究発表会 オープンハイスクール	12	防災体験活動 食物・被服・保育技術検定1・2級 Word検定(下旬)
5	山高街の駅①(山崎 w&w) 感謝の日のプレゼント(上旬) 配食サービス開始（通年） 県家庭クラブ連盟顧問会議 山高街の駅②（さきランド）	9	敬老の日のプレゼント(上旬) 山高街の駅④（くにみ祭り）	1	課題研究発表会 校外テーブルマナー講習会
6	文化発表会展示・バザー 高校生レストラン① 山高街の駅③	10	高校生レストラン② インターンシップ	2	山高街の駅⑥ ふれあい育児体験 県家庭クラブ連盟顧問会議
7	家庭科技術検定実技 1・2級 Excel検定(下旬) やまさき白寿園訪問(下旬) 二葉園訪問(下旬) 全国高等学校家庭クラブ研究発表会	11	兵庫県総合文化祭合同発表会 山高街の駅⑤（もみじ祭り） 高校生レストラン③	3	山高街の駅⑦イベント 新入生との交流会

(5) 組織

	多々良	是安	松本	岡田	吉田	小田
分掌	科長	1年担任	2年担任	3年担任	総務	進路
主な役割	情報処理検定 山高街の駅	家庭クラブ顧問 配食サービス	山高街の駅	教科主任 介護職員初任 者研修事務	技術検定事務	家庭クラブ会計 技術検定会計 WEBページ 更新
対外任務	全国大会専門委員 長 県家庭に関する 学科研究委員	全国大会専門部	県家庭クラブ成人 副会長	技術検定全国専門 委員 全国大会専門部	家庭クラブ事務局 補助	家庭クラブ事務局 会計

\*時間講師：蔵屋

(6) 本年度の取り組み

① 高校生レストラン

- ア 日 時 第1回：平成30年5月31日（木） 8:00～15:15  
 第2回：平成30年10月4日（木） 8:00～15:15  
 第3回：平成30年11月29日（木） 8:00～15:15

イ 場 所 山崎高校 特別教室棟 1階 調理実習室及び試食室

ウ 目 的 食について専門に学習している生徒が、学び得た知識・技術を駆使して健康的な献立を作成し、調理し、お客様に提供することで、専門学科生徒としての自信と誇りを持たせ、学習意欲をさらに高める。

- エ 内 容 a 献立作成（栄養のバランス、地元産の旬の食材、調理効率、材料費、熱量等を考え、お客様に喜んでいただけるものにする）  
 b 調理（モーニング、ランチ）  
 c 接客（料理の説明、会計を含む）

オ 対象生徒 生活創造科3年 「栄養」選択者15名



② 森林セラピーとの連携事業 実施要項

- ア 日時 ・平成30年6月21日(木) 森の恵スイーツ  
・平成30年6月28日(木) 森の恵ご膳  
・平成30年11月1日(木) 森の恵スイーツ  
・平成30年11月8日(木) 森の恵ランチ

イ 場所 山崎高校 特別教室棟 1階 調理実習室及び試食室

ウ 目的 発酵のまち宍粟をPRできるスイーツとランチを考案・調理し、国見の森公園にて森林セラピー体験をした参加者に提供することで、生徒自身が宍粟市の食についての理解を深め、地域の食文化を伝承する力と姿勢を身につける。

エ 内容 献立作成・調理・接客

オ 対象生徒 生活創造科3年 「課題研究食物」選択者15名

カ 担当教員 教諭 多々良恵、実習助手 小田美穂

キ その他 提供数は各10食

- ・森林セラピー参加者をしそ森林王国観光協会が本校へ送迎
- ・小雨決行（大雨でセラピー中止の場合でも関係者等への食事提供を行う）
- ・申込はしそ森林王国観光協会が扱う
- ・森林セラピー参加費（食事代を含む）は、21日3,000円、28日3,500円

[春]



[秋]



### ③ インターンシップ（就業体験実習）

#### ア 目的

- a. 自分の興味・関心や適性を考え、さまざまな職業や産業と照らし合わせ、進路を考える際に必要となる体験をする。
- b. 就業体験を通じて、仕事の厳しき、働くことの大切さ、自らの課題をどのように解決するか 学ぶ機会とする。
- c. 地域の産業について理解し、そこで働く人々との交流を通じて、人間関係を学ぶ機会とする。



#### イ 実施期間・内容

- a. 実習日時 平成30年10月22日（月）～10月28日（日）  
（期間中5日間実施）8:00～17:00（うち5時間以上）
- b. 対象生徒 生活創造科 2年 34名
- c. 実習先 趣旨に賛同していただいた事業所・施設



#### ウ 心構え

- a. 明確な目的意識 - 進路実現・人間形成に向けて実習に臨んでいることを常に自覚すること。
- b. プロとしての責任感 - 高校生ではなく、職場の一員としての自覚を持った行動を心がけること。
- c. 「協働」の精神の育成 - 素直に指導を聞き入れ、進んでコミュニケーションをとること。
- d. 積極的な行動 - 体験中は機敏な行動を心がけ、自ら仕事を求める積極性を持つこと。
- e. 産業・地域社会への理解と貢献 -  
就業体験を通じて地域から学び、将来、地域の社会活動に貢献する機会とすること。

#### エ 方法

- a. 事前指導・事後指導は学校で行う。
- b. 事前に生徒自ら実習先に連絡したのち、打ち合わせに行く。
- c. 時間厳守。遅刻・早退・欠席はしないこと。やむを得ない場合は、実習先に始業時間30分前までに実習先に連絡をするとともに、学校にも連絡する。
- d. 電車・バスなどの公共交通機関が遅れた場合、駅などの公衆電話から事業所に電話をかけること。（どんな理由で遅れているのか。また、何時くらいに出勤できそうなのかなど）
- e. 気象警報が出た場合は、事業所に連絡し、指示を受けること。（出勤時間等）
- f. 実習期間中は打ち合わせた始業時刻に合わせて直接出勤し、終業時刻まで体験実習を行う。（実習中外出禁止。昼食は弁当を持参する。）
- g. 教育活動の一環としての体験実習であり、無給とする。
- h. 生徒は学校を通じて損害保険に加入する。
- i. 実習に対する経費（昼食、検便など）は生徒負担とする。
- j. 実習期間中は生活創造科・学年・進路指導部が巡回訪問する。
- k. 服装は作業に適したもの。実習先との事前打ち合わせにより決定。  
（通勤の服装は原則として制服とする。）
- l. 実習のしおりやその他事前に使用するプリント類の提出期限に絶対に遅れないこと。
- m. 実習日誌を記入し、実習先の担当者記載欄を記入してもらうこと。
- n. 実習後、すみやかに実習ノートを提出すること。



<お世話になったインターンシップ先一覧>

番号	氏名	インターンシップ先	業務
1	田中 朱輝	たつの市立越部幼稚園	保育
2	藤井 暁斗	米ギャラリー大手前	調理
3	井上 クルミ	宗教法人 日本キリスト教団 山崎教会 山崎聖旨保育園	保育
4	植田 詩野	フラワーベル	花屋業務
5	大前 美月	ファッションセンターしまむら山崎店	業務全般
6	金田 ひなた	穴粟市立かしわの保育所	保育
7	菊地 遥香	森下製パン	製造
8	岸原 実紅	SAVOY	接客
9	栗原なのは	アグロガーデン 新山崎店	業務全般
10	神崎 彩香	ミーチェカフェ	調理・接客
11	小林 千納	道の駅 播磨いちのみや	業務全般
12	佐藤 あかね	野天風呂 あかねの湯 龍野店	業務全般
13	佐見津 麻由	社会福祉法人 太子福祉会 太子の郷	介護
14	清水 那奈	J A兵庫西しそ介護センター・オアシスしそ	介護
15	新林 咲良	社会福祉法人 恩徳福祉会 特別養護老人ホーム やまさき白寿園	介護
16	祐保 かれん	穴粟市立山崎幼稚園	保育
17	鈴木 莉子	但馬牛レストラン トップ・ジージョ	調理
18	高橋 優亜	マリー ポアラヌ 山崎店	菓子製造
19	高見 綺良	プチマルシェ新宮店	スーパー業務
20	竹内 杏里	社会福祉法人 正栄会 ありがとう	介護
21	長田 愛未	介護老人保健施設 夢前白寿苑	介護
22	中村 詩乃	社会福祉法人 晋和福祉会 くりのみ保育園	保育
23	南光 果純	社会福祉法人 恩徳福祉会 特別養護老人ホーム しそりの杜	介護
24	野崎 菜緒	社会福祉法人 波賀の里福祉会 特別養護老人ホーム かえて園	介護
25	橋本 佳奈	社会福祉法人 栗栖の荘 香島保育園	給食調理
27	福中 望月	ホームプラザナフコ 山崎店	業務全般
28	藤井 優那	道の駅 みなみ波賀	業務全般
30	三木 七星	アंकルトムズキャビン	調理・接客
31	三木 陽向	社会福祉法人 ひこばえ福祉会 段ちびっこ園	給食調理
32	三輪 杏莉	森のお菓子工房 木いちご	菓子製造
33	山本 伊織	あらかぎ御菓子司	製造
34	吉田 和夏	うどん 末治	調理・接客
35	米澤 さくら	カーブスタつの店	運動補助
36	渡邊 千裕	伊沢の里	業務全般

④ 課題研究発表会：平成31年1月24日（木）4・5・6限 於：同窓会館

		名 前	出身中学	タイトル	内 容	
被服	11:55～ 12:10	1	赤木 遥	波賀	ファッションの流行について	年代別の流行や流行色について調べ、どのようにファッションの流行が生まれているのか調査しました。
		17	玉越 萌花	林田		
		30	山部 くるみ	山崎西		
		12	小坂 真子	山崎南	結婚式の衣装について	女性の婚礼時の衣装について調べました。日本の白無垢、各国の婚礼衣装、ウエディングドレスの流行には傾向があるのか調査しました。
		13	小林 ゆなほ	山崎東		
		22	西山 華乃	一宮北		
保育	12:10	2	新井 穂佳	山崎西	アレルギー製品に替わる食材	食物アレルギーがある人の参考になるように代替品を使って調理しました。
	～	23	福井 麻梨奈	山崎東	苦手な食べ物を克服しよう	にんじんやピーマンを使って、苦手をなくすことができるのか研究しました。
	12:20	29	山角 初音	安富	乳幼児のおもちゃ作り	年齢別に必要な能力が身につく「知育玩具」を作りました。
福祉	12:20	3	荒木 千里	龍野西	高齢女性のおしゃれへの関心について	祖母に意見を参考にして、簡単に作れるコサージュを紹介します。
	～	5	岡住 麻未	波賀	精神的に疲れた時の対処法	精神的に疲れる時は、どういった時か、どのように対処するといったのを紹介しします。
	12:40	8	桂 沙耶	新宮	廃用症候群について	廃用症候群を予防する日常生活の中でできるトレーニングを紹介します。
		11	北浦 優衣	太子東	高齢者の家庭内事故対策	家庭内での転倒対策を考えました。
		20	中塚 夢梨花	新宮	日常で使っている物を自助具に変えてみよう	身近なものをを使って食事用自助具を作りました。
		24	三浦 未理	山崎西	リハビリ職の中の言語聴覚士について	身近にできる言語聴覚のリハビリを紹介します。
	26	森上 果朋	安富	高齢者の食事介助について	食事介助について調べ、介助に必要な自助具を作りました。	
食物	13:30	4	大城 聖南	山崎西	家庭でできる薬膳料理	家庭でできる薬膳料理を研究しました。
	～	9	兼光 紀華	山崎東	タピオカスターチ	タピオカスターチでできる料理を研究しました。
	13:55	10	神田 吏音	山崎西	色々な粉のカップケーキ	色々な粉でカップケーキが作れるのか研究しました。
		14	曾賀 きらり	菅野	ゼリータイプのドレッシング	食感の良いドレッシングを作ってみました。
		18	坪田 亜弓	山崎東	子どもの好き嫌いをなくすにはどのように調理すればよいか	子どもの野菜嫌いについて研究しました。
		19	中川 カンナ	山崎西	米粉を使ったお菓子・料理	米粉と薄力粉の違いについて研究しました。
	27	八木 柚己	山崎西	オリーブオイルを使ったスイーツ	バターの変わりにオリーブオイルを使ってスイーツを作りました。	
食物	13:55	6	岡本 優奈	山崎西	ブルーベリーシフォンケーキ	米粉を使ってブルーベリーシフォンケーキを作りました。
森林	～	15	高橋 桃果	林田	黒豆ブラウニー	黒豆のブラウニーを作りました。
ゼリー	14:15	16	田中 沙弥	山崎南	酒粕シフォンケーキ	宍粟市の特産品である酒粕を使ったシフォンケーキを作りました。
スイーツ		21	中村 優里	山崎西	紅茶とりんごのロールケーキ	宍粟市の特産品であるりんごを使い、ロールケーキを作りました。
		25	三木 雅咲	山崎東	さつまいもプリン	旬の食材を使い、プリンを作りました。
森林	14:15	7	奥藤 優菜	山崎南	山椒ドレッシング	宍粟市の特産品と旬の食材を使い、味のバランスを考えた献立を作成し、お客様に提供しました。
ゼリー	～	28	山角 初奈	安富	黒豆茶のわらびもち、青梗菜とささ身の和え物	
ランチ	14:25	31	米澤 桃香	龍野西	豆腐ステーキ、茶わん蒸し	
被服	14:35～	ファッションショー				

⑤ “日本酒の発祥・発酵文化の発祥”の地“宍粟市”

山崎高校生活創造科と宍粟市との連携～「発酵スイーツ」新商品開発事業～

ア 事業概要

宍粟市が取り組む「発酵」をテーマとして、宍粟市と連携して、発酵製品に関する基礎知識の習得から、国産・海外スイーツの調査・研究、発酵スイーツの企画・製作を行う。また、アドバイザーに商品開発のプロと料理人を招聘して監修を受け、市内お菓子製造事業者を招待し、賛同事業者によるスイーツの継続的な製造・販売をめざす。この学習を通して生徒の「発酵」への興味関心を高め、将来は市内で発酵レストランの起業や発酵分野で活躍し、宍粟市の観光大使として活動する人材を育成する。

イ 対象生徒 生活創造科3年「食文化」選択者11名

ウ スケジュールと内容 (9/5～11/14、全て水曜日の3,4限に実施)

9月5日(水) (中澤・中村アドバイザー出席)

・新たな発酵製品造成のオリエンテーション ・発酵製品に関する基調講演

9月12日(水)

・発酵食品の調査・研究 (発酵技術を使った国産・国外スイーツを調べる)

9月19日(水)

・発酵スイーツのアイデアラッシュ (前回の調査を踏まえて発酵スイーツのアイデア出し)

10月3日(水) ・発酵スイーツの商品企画

10月31日(水) ・試作品の試食 (中村アドバイザー出席)

11月14日(水) ・試作品の改良、製作

11月17日(土) ・兵庫県高等学校総合文化祭で発表

エ アドバイザー

宍粟市の発酵のまちづくりのアドバイザー

・中澤さかな 氏 (プライドフィッシュプロジェクト企画委員会 運営委員長)

・中村新 氏 (㈱キッチンエヌ代表取締役、産業フードプロデューサー)

オ 担当教員 教諭 多々良恵、実習助手 小田美穂

カ 予算 アドバイザー謝礼、材料費とも全額宍粟市が負担

キ その他 9/5、10/31、11/14は、市内事業者が授業参観。



中澤さかな先生



講義を聴く生徒たち

⑥ 山高街の駅

今年度も、本校を含めて町内各所で「山高街の駅」を開催し、地域の方々には手作りのケーキやお菓子等を提供すると共に、時に応じて「防災ワークショップ」を運営し、数年前から取り組んできた防災・減災意識の啓発に努めた。また、何回か森林環境科学科や生徒会も参加して、生徒による木工作品やシイタケを販売し、或いは子どもたちの遊び場を運営して地域の方々の注目を集め、人気のあるコーナーとなっていた。元気な山高生が元気な地域を創る。これ至言である。

平成30年度に実施した7回の「山高街の駅」の内容は、以下の通りである。

- 第1回 5月3日(木・祝)、宍粟市商工会駐車場  
生活創造科 クッキー・カップケーキ販売  
家庭部 パウンドケーキ販売
- 第2回 5月26日(土) 咲ランド [防災ワークショップ併設]  
生活創造科 カップケーキ・チーズケーキ・スノーボール・かしわもち販売  
家庭部 キャラメルパウンドケーキ販売  
生徒会 ちびっ子ゲームコーナー
- 第3回 6月23日(土) 山崎高校  
生活創造科 石窯ピザ教室・カップケーキ販売  
生徒会 ちびっ子ゲームコーナー(輪投げ・折り紙)
- 第4回 9月23日(日・祝) 国見の森公園  
生活創造科 ステンドグラスクッキー・カップケーキ・ゆずしそ醤油販売  
森林環境科学科 木工作品・木酢液・木炭等販売
- 第5回 11月23日(金・祝) 最上山公園 [もみじ祭り会場]  
生活創造科 スイートポテト・カップケーキ・和菓子・ゆずしそ醤油販売  
森林環境科学科 木工作品・木酢液・木炭・シイタケ販売  
家庭部 パウンドケーキ販売
- 第6回 2月2日(土) 咲ランド [防災ワークショップ併設]  
生活創造科 ガトーショコラ・カップケーキ・チーズケーキ・ゆずしそ醤油販売  
森林環境科学科 木工作品・木酢液・乾燥シイタケ販売  
生徒会 スーパーボールすくい・輪投げコーナー  
ギター同好会 ミニコンサート
- 第7回 3月2日(土) 咲ランド  
生活創造科 手づくりお菓子・手づくり小物の販売・綿菓子実演・ボンボンマスコットの作成、ツムツム釣りなどのゲーム、紙人形劇実演

**山高街の駅だより No.1**

日時：平成30年5月3日(木・祝)  
場所：宍粟市商工会駐車場  
内容：生活創造科…クッキー、カップケーキ販売 家庭部…パウンドケーキ販売

今回の手作りスイーツは、

クッキー5種入り : 27袋  
クッキー大袋 : 16袋  
カップケーキ : 計160袋  
(抹茶×チョコチップ、ココア×ベリー)  
パウンドケーキ : 計24個  
プレーン・ココア・抹茶

ミッシェル先生から習ったので上手く作れると思ったのですが、バターを必要以上に柔らかくしてしまい、クッキー生地が溶けて平べったくなってしまいました(涙)。時間と闘いながら、イベント前日に急いで作り直しました。今度は綺麗なおいしく焼けてました。ほっ。(平べったいクッキーも大袋として販売しました。)

カップケーキは1年生が担当しました。まだ入学して1カ月しか経っていないのに、私たち2年生と一緒に沢山遊んでくれました。カップケーキも美味しそうに焼けてよかったです。

感想

今回の駅の駅は12時過ぎにはお菓子が全部売り切れて、とてもうれしかったです。それも1年生がたくさん売り子をしてくれたからだと思います。試食サンプルを持って知らない人に話しかけることは大変だったと思いますが、1年生のみなさんはすごく頑張ってくれました。

山高街の駅も賑わりのスタンパライポイントになっていたの、スタッフ押しもしました。賑わりは宍粟市の大神社の千年祭のお祭りです。私たちも、販売しながら地域の方々と一緒に賑わつたのを楽しめました。おいしい度ベ帽や服、アフセサリーの販売もあり、何を買おうか迷ってしまいました。

雨の予報もあり大変な一日でしたが、今日もいい駅の駅になりました。これも先生方や協力してくださった方々のおかげです。賑わつて来てくださった皆さん、お菓子を買ってくださった皆さん、本当にありがとうございます。

**山高街の駅だより No.6**

日時：平成31年2月2日(土)  
場所：咲ランド2階 センtralコート  
内容：生活創造科…ガトーショコラ・カップケーキ・チーズケーキ・ゆずしそ醤油販売  
森林環境科学科…木工品、乾燥しいたけの販売  
生徒会…スーパーボールすくい・輪投げコーナー  
ギター同好会…ミニコンサート (空も飛べるはず・スタンドバイミー 他)

手づくりお菓子販売

今回の山高街の駅は「咲ランド」にて、生活創造科、森林環境科学科、生徒会執行部、ギター同好会が協力して開催しました。生活創造科は、ガトーショコラ・カップケーキ・チーズケーキ、山高生が開発したゆずしそしょうゆを販売しました。

一番苦労したことは、どうしたらお客様に買っていただける雰囲気になるかを考えることでした。販売では、お客様が少ないときに大きな声を出して呼び込みをしました。たくさんのお客様が来てくださり、完売することができました。

防災ワークショップ

今年度2回目となる防災ワークショップでは、段ボールベッドを作ってみようコーナーや色々な非常用持ち出し袋の展示、防災クイズなどを行いました。12月に行った防災体験活動の経験を生かして色々な展示をし、たくさんの方にクイズに参加してもらい、防災についてお話しすることができました。

感想

咲ランドは、たくさんの方が来られるので、すぐに売切れてしまったものも思いましたが、ガトーショコラを大量に焼いたので、完売が難しく時間がかかりました。でも、たくさんの方が「美味しそう!」と喜んでくださって、とてもうれしかったです。

生徒会が、子どもの楽しめる遊びを考えていて、とても人気でした。ギター同好会のミニコンサートはとても盛り上がり、昼過ぎの部も開催されることになりました。

たくさんの方に来ていただいて、成功させることができ、良かったです。

☆山高街の駅に来てくださった皆様、本当にありがとうございます!

☆今回は今年度最終回。生活創造科の2年生全員で行います。お楽しみに。

→3月2日(土) 10時から 場所：咲ランド2階 センtralコート

『山高街の駅だより』

⑦ 「1・17ぼうさい未来賞・ぼうさい甲子園ぼうさい大賞」受賞（2年連続）

主催 兵庫県、毎日新聞社、公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構

期日 平成31年1月13日（日） 場所 兵庫県公館

受賞理由

「同校は大地震が予想される山崎断層上にあり、東日本大震災後の2013年から、生活創造科の2年生が企画・運営する防災訓練を始めた。これまで地域の災害時要援護者リストや防災マップも作っている。今回の審査対象になった17年度は、防災訓練で自衛隊や消防などから学んだ内容をガイドブックにまとめた。空き缶でご飯を炊く方法や、避難所で必要になる係などを紹介。地域住民にも各戸配布した。県によると、生徒主体の活動で、地域とも連携し、継続性もある点が高く評価されたという。17年度の統括リーダーだった生活創造科3年田中沙弥さん（18）は「ガイドブックには写真を多く使い、大事なことは赤字にして分かりやすく工夫した。多くの人が防災について考えるきっかけになってほしい」と話していた。」

（神戸新聞平成31年12月24日付記事より）



井戸兵庫県知事による表彰



生徒代表 小坂真子 田中沙弥



神戸新聞 平成30年12月24日（月）

## IV 各学年の取り組み

### 1 第1学年 (73回生)

#### (1) H30 学年経営方針

##### ① 基本的な生活習慣の確立

ア 規則正しい生活習慣を確立する。

イ 挨拶、身だしなみ、言葉遣い、礼儀作法など社会性の涵養を図る。

ウ 自我の確立を図り、社会の変化に対応しながらも、周囲に流されない確固とした自己を築けるよう努める。

##### ② 良好な人間関係を確立しようとする態度の育成

ア 集団の中で、思いやりのある発言や行動がとれ、周囲に配慮できる態度を養う。

イ 授業の中や人権学習を通じて社会で起こっている出来事にも目を向けさせ、命を大切にすることを意識を高める。

ウ ボランティア活動や地域の交流活動に積極的に参加する意欲を持たせる。

##### ③ 積極的な姿勢の育成

ア 自己の可能性を高く設定し、目標達成に向けて努力する。

イ 日々の学校生活のさまざまな場面において自らを鍛え、学力はもとより体力・精神力など人間力の向上に努める。

ウ 自分に適した進路選択を模索し、その実現に向けて継続的に努力する。

##### ④ 具体的な取り組み

###### ア 生徒指導

a. 基本的な生活習慣を身につけさせ、挨拶・服装・言葉遣い・礼儀作法などを指導する。

b. 規則正しい生活のリズムを身につけさせ、心身共に健全な生活が送れるよう指導する。

c. 普段の声かけや個人面談等により、生徒の状況や内面を把握し個々に応じた指導に努める。

d. 教師間での連絡、報告を密にすることで学年全体で丁寧でわかりやすい生徒指導に努める

e. 保護者との連絡を密にし、学校と家庭が協力して生徒指導にあたる。

d. 地域の人々の協力を得て、社会のルールを守りマナーが向上するように指導する。

###### イ 進路指導

a. 家庭学習を習慣づけるために、授業課題や週末課題を計画的に用意する。

b. 予習・復習を習慣づけ、授業が効果的に受けられるようにする。

c. 朝の小テストで基礎学力の定着を図る。

d. 補習（朝、放課後、長期休業中）を行い、学力の伸長を図る。

e. LHRや講演会、インターンシップなどを通して進路意識を持たせる。

f. 教育類型や特進クラスの生徒に、より高い意識を持たせることで学年全体の学習に対する意識を向上させる。

g. 漢字検定や英語検定、専門科の検定を積極的に受け、資格の取得を目指す。

h. 専門科・教育類型の生徒を中心に、体験活動に積極的に参加することで進路意識の向上を図り社会に適應できる力を育てる。

i. 模擬試験・小論文模試などを効果的に活用する。

ウ 73回生オリエンテーション合宿

a. 目的

- ・高校生活への強い心構えを養い、集団の規律・秩序の大切さを身につけ、基本的な生活習慣の確立を図るとともに、山崎高校生としての礎を確立する。
- ・集団生活をとおして好ましい人間関係を築き、ホームルーム活動に積極的に参加する姿勢を身につける。
- ・日常の生活から離れ緑と海に包まれた美しい環境の中で、生徒と教師が一体となって達成感を味わい、お互いの理解と信頼感を深める。

b. 期間 2018年4月23日(月)～24日(火) 1泊2日

c. 場所 「ツネイシしまなみビレッジ」 広島県福山市沼隈町中山南 26-1

d. 参加者 引率教職員…11名(団長、学年団9名、養護教諭)

参加生徒…第73回生 210名(男子 88名、女子 122名)



エ ふるさと貢献活動

a. 日時 平成31年3月15日(金) 10:50～12:40

b. 内容 地域の清掃

c. 清掃場所及び担当者

- 最上山(1組34名:吉田、大永、尾西)
- ローソン～かしわの保育園～菅野川沿い～木谷グランド(2組39名:是安、吉田資)
- 菅野川土手(かしわの保育園～白寿園向かい)(3組32名:寺尾、鏡田)
- マラソンコース～木谷グランド(4組29名:木下、上杉、小嶋)
- 菅野川土手(白寿園向かい～鶴木)(5組35名:土屋、由利)
- 通学路(テニスコート、神姫、商店街)(6組35名:安養寺、山脇、岡本)
- 巡回、写真 →東幸、妙見



オ 主権者教育講演会

- a. 目的 生徒の多くが住んでいる宍粟市の市議会議員との交流を重ねることにより、政治に対する興味関心を引き出す。また、市議会議員の仕事や、市議会での議案事項などの地方自治についての知識を得る。
- b. 日時 平成31年3月18日(月) 11:50~12:40 4限 場所 同窓会館
- c. 内容 宍粟市議会議員との交流会
- ・市議会議員が市議会での議案事項・市議会議員の仕事・宍粟市の抱える問題等について講演
  - ・事前にアンケートを実施し、それらの質問に対して回答をいただく
- d. 出席議員 議長 実友 勉 氏 副議長 西本 諭 氏
- |           |          |           |         |
|-----------|----------|-----------|---------|
| 議会運営委員長   | 大畑 利明 氏  | 総務経済常任委員長 | 飯田 吉則 氏 |
| 文教民生常任委員長 | 榎橋 美恵子 氏 | 広報広聴常任委員長 | 山下 由美 氏 |
| 予算決算常任委員長 | 東 豊俊 氏   |           |         |



## 2 第2学年(72回生)

### (1) 学年経営方針

- ① 基本的な生活習慣と学習習慣の確立を図る。
- ② 挨拶、身だしなみ、言葉遣い、礼儀作法など社会性の涵養を図る。
- ③ 自我の確立を図り、社会の変化に対応しながらも、周囲に流されない確固とした自己を築けるよう努める。

### (2) 学年教育目標

- ① 個人の尊厳を認め、互いに尊重しあう心を培い、良好な人間関係を築くよう努める。
- ② 集団生活や学校行事、部活動などを通じて協調性や社会性を養う。

### (3) 学年重点目標

- ① 自己の可能性を高く設定し、目標達成に向けて努力する。
- ② 日々の学校生活のさまざまな場面において自らを鍛え、学力はもとより体力・精神力など人間力の向上に努める。
- ③ 自分に適した進路選択を模索し、その実現に向けて継続的に努力する。

### (4) 具体的な取り組み

#### ① 生徒指導

- ア 基本的な生活習慣を身につけさせ、挨拶・服装・言葉遣い・礼儀作法などを指導する。
- イ 規則正しい生活のリズムを身につけさせ、心身共に健全な生活が送れるよう指導する。
- ウ 普段の声かけや個人面談等により、生徒の状況や内面を把握し個々に応じた指導に努める。
- エ 教師間での連絡、報告を密にすることにより学年全体で生徒指導にあたる。
- オ 保護者との連絡を密にし、学校と家庭が協力して生徒指導にあたる。
- カ 地域の人々の協力を得て、交通ルールをはじめ社会のルールを守りマナーが向上するよう指導する。

#### ② 進路指導

- ア 1年次に総合学習で学んだ内容を元に生徒個々に応じた高い目標を持たせ、生徒の可能性を伸ばす。
- イ 家庭学習を習慣づけるために、授業課題や週末課題を計画的に用意する。
- ウ 予習・復習を習慣づけ、授業が効果的に受けられるようにする。
- エ 朝の小テストで基礎学力の定着を図る。
- オ 補習(朝、放課後、長期休業中)を行い、学力の伸長を図る。
- カ LHRや講演会、インターンシップなどを通して進路意識を持たせる。
- キ 教育類型や特進クラスの生徒に、より高い意識を持たせることで学年全体の学習に対する意識を向上させる。
- ク 漢字検定や英語検定、専門科の検定を積極的に受け、資格の取得を目指す。
- ケ 専門科・教育類型の生徒を中心に、体験活動に積極的に参加することで進路意識の向上を図り社会に適應できる力を育てる。
- コ 模擬試験・小論文模試などを効果的に活用する。

### ③ 72回生修学旅行（北海道・星野リゾートトマム）

#### 1日目 1月16日（水）

当日欠席者もなく定刻どおり226名で本校を出発したが、神戸空港班の1名が発熱のため保護者に迎えにきてもらうことになり、225名での修学旅行となった。無事千歳空港に到着し、ほぼ予定通りに星野リゾートトマムに到着した。到着後開校式を行い、その後講習①として、1.5時間の講習を行った。講習後、全員で夕食を食べ、この日は班長会議や室長会議などを行い、就寝。1日大きなけが人や病人も出ず、予定通り日程を進めることができた。

#### 2日目 1月17日（木）

講習②の前にクラス写真を撮り、各班に分かれて講習②が始まった。昼食は全員でカレーを食べ、午後の講習③に入った。この日は、講習後にナイタースキーを行い、約100名の生徒が参加。仲間と講習の成果を発揮して、カクテル光線で照らされたゲレンデに思い思いのシュプールを描いていた。また、アイスヴィレッジの見学に行った生徒も多くいて、雪と氷の幻想的な世界に見学した者全員が驚きと感動を覚えていた。

#### 3日目 1月18日（金）

天候は晴れ、講習④が始まった。講習最終日。午後になると山頂付近は強風でゴンドラや山頂へのリフトがストップしてしまい、山頂に行けなかった班も多かった。2.5日間の講習で全員がかなり上達し、それぞれが技術に応じて楽しく滑ることができた。講習⑤の後閉校式を行い、スキースクールの校長先生から悪天候にもかかわらず、高い出席率であったと褒めていただいた。翌日トマムを離れることになるので、この日から荷造りをし翌日朝の荷物発送に備えた。

#### 4日目 1月19日（土）

修学旅行最終日。朝食時に退館式を済ませて、ホテルに残ったの「スノー三昧」班と小樽散策班に分かれ、小樽班はバスで出発した。それぞれの活動場所で北海道ならではの体験をし、その後バスで空港に向かった。予定通り空港に到着し、各空港から山崎に向かった。伊丹空港班が21:50、神戸空港班が22:10に山崎咲ランド駐車場に到着し、解散となった。



④ ふるさと貢献活動

ア 日 時：12月12日（水）3・4限(10：50～12：40)

イ 内 容：地域の清掃

ウ 清掃場所（別紙地図あり）

- テニスコート下～八幡神社、紅葉山駐車場（1組35名：合田、尾西）
- ローソン～かしわの保育園～菅野川沿い～木谷グランド（2組34名：松本、小田）
- マラソンコース～木谷グランド（4組38名：縄手、梶浦）
- 菅野川土手(かしわの保育園～白寿園向かい、中国縦貫道下)（3組39名：高島、真鼻）
- 菅野川土手(中国縦貫道下～鶴木)（5組36名：藤坂、出田）
- 通学路(山高前バス停～神姫、商店街、夢公園)（6組37名：朝長、福地）
- 白寿園（生徒会執行部役員9名：天野、西川）
- 巡回、写真、軽トラ→長田、北山



⑤ 合格者座談会

ア 日 時：平成31年3月18日（月）午後

イ 内 容：71回生の受験体験を2年生に語るることにより、合格を勝ち取る秘訣を伝授するとともに、2年生のモチベーションを高揚させる。



※1学年上の先輩から直接合格体験記を聴く非常に貴重な機会であり、受験勉強のコツは勿論のこと、最終学年たる3年生になる上での心構えを身に着ける上で大いに参考になった。

### 3 第3学年（71回生）〈H30経営目標〉

#### (1) 自律（自らを律し規範意識を高める）

- ① 基本的な生活習慣の確立を図る。
- ② 挨拶、身だしなみ、言葉遣い、礼儀作法など社会性の涵養を図る。
- ③ 自我の確立を図り、社会の変化に対応しながらも、周囲に流されない確固とした自己を築けるよう努める。

#### (2) 共生（良好な人間関係を構築する）

- ① 個人の尊厳を認め、互いに尊重しあう心を培い、良好な人間関係を築くよう努める。
- ② 集団生活や学校行事、部活動などを通じて協調性や社会性を養う。
- ③ 宍粟市の中心校として、地域の期待に応え、交流を通して地域社会に寄与する心を育む。

#### (3) 錬磨（自らを高め、進路実現を図る）

- ① 自己の可能性を高く設定し、目標達成に向けて努力する。
- ② 日々の学校生活のさまざまな場面において、自らを鍛え、学力はもとより、体力、精神力など人間力の向上に努める。
- ③ 自分に適した進路選択を模索し、その実現に向けて継続的に努力する。

#### (4) 学年目標

山崎高校2年間で得た経験をもとに、最高学年としての自覚をもち、日々の生活や学校行事、部活動などにおいて後輩の見本となり、学校をリードしていけるように成長を促す。

進路実現に向けて生徒一人ひとりに最大限の努力をさせる。

社会に出ていく最終段階として社会人として恥ずかしくない言動ができるよう意識を徹底させる。

#### (5) 具体的な取り組み

##### ① 生徒指導

ア 基本的な生活習慣を身につけさせ、挨拶、服装、言葉遣い、礼儀作法などを指導する。

イ 規則正しい生活のリズムを身につけさせ、心身共に健全な生活が送れるよう指導する。

ウ 個人面談等により、生徒の状況や内面を把握し、個々に応じた指導に努める。

エ 教師間での連絡報告を密にし、学年全体で生徒指導にあたる。

オ 保護者との連絡を密にし、学校と家庭が協力して生徒指導にあたる。

カ 地域の人々の協力を得て、交通ルールをはじめ、社会のルールとマナーを守れるよう指導する。

##### ② 進路指導

ア 生徒一人ひとりに、明確な目標を持たせ、その進路実現に向け生徒が努力できる環境を整える。

イ それぞれの進路に適した授業課題や週末課題を計画的に用意する。

ウ 予習・復習を徹底し、授業が効果的に受けられるようにする。

エ 朝の小テストで基礎学力の定着を図る。

オ 進路別に対応した補習を実施する。（朝、放課後、長期休業中）

カ 総合的な学習の授業や講演会を通して、各自の進路について研究を深め、最も適した進路を選択できるように努力する。

キ 森林環境科学科と生活創造科(専門学科)、普通科総合類型、文理科学類型の4つのコースの特徴を理解し、それぞれの特性に合わせた指導をすることで、生徒一人ひとりをより良い進路に導く。

ク 漢字検定や英語検定、専門科の検定にチャレンジし、進路実現の糧となる資格の習得を目指す。

ケ 模擬試験・小論文模試などを効果的に活用し、進路実現に役立てる。

③ 71 回生 3 学年 高校生ふるさと貢献活動>

ア 日 時：平成 30 年 7 月 9 日（月）11:25～12:30

イ 場 所：山崎高校周辺、通学路、マラソンコース

ウ 内 容：ゴミ拾いなど清掃活動、花植ボランティア

1, 2 組（1 組 5 名、2 組 5 名）（天野、奥田、岡田、尾西）・・・ありがとう花植

3, 4 組（3 組 10、4 組 10 名）（片淵、石橋、中藤、横川）・・・マラソンコース

（市場・高下地区）清掃<半分は自転車>

5, 6 組（5 組 10 名、6 組 10 名）（上野よ、林、上野た、吉田、出田）・・・

通学区路（神姫バス～学校）の清掃



④ 文理科学類型特別プログラム SPring-8/SACLA 見学

ア 日 時：平成 30 年 7 月 19 日（木）

イ 場 所：兵庫県佐用郡佐用町光都 1 丁目 1-1

ウ 移動手段：貸し切りバス（1 台）

エ 対象生徒：文理科学類型（5, 6 組）理系（32 名） 引率教員：中藤・林

オ 日 程

13:00 学校出発（同窓会館前） バス車内にて昼食

13:45 理化学研究所 放射光科学研究センター 到着

14:00 SPring-8/SACLA 見学ツアー（所要時間 約 1 時間 30 分）

1. SPring-8/SACLA 施設説明 2. SACLA 見学 3. SPring-8 見学

16:00 理化学研究所放射光科学研究センター 出発 16:45 山崎高校到着 解散

⑤ 学習合宿

ア 日 時 7 月 31 日（火）～8 月 2 日（木）3 日間 イ 場 所 学遊館（山崎町東下野 18）

ウ 合宿費 約 8,000 円（宿泊費、シーツ代、食費、講師料、施設利用費等）

エ 実施教科及び内容

- a. 英語 センター試験(マーク模試)対策
- b. 数学 センター試験(マーク模試)数学 I A II B 対策
- c. 国語 問題演習(マーク模試・記述模試対策)
- d. 生物 (理系) マーク模試演習
- e. 物理 (理系) マーク模試演習
- f. 日本史 (文系) マーク模試演習
- g. 世界史 (文系) マーク模試演習

## V 各部の取り組み

### 1 総務部

#### (1) 経営目標

- ① 安心・安全でこころ豊かな教育環境を整備し、主体的・創造的な活動を推進する。
- ② 防災意識や危機管理能力を高めるとともに、共生・安全確保に向けた取組を活性化する。
- ③ 伝統の継承と新たな学校文化の創造をめざして、学校行事の精選・改善・充実に努める。
- ④ 各科・各部・学年等との連絡調整を密にして、組織的・協働的教育活動の発展を促進する。
- ⑤ 保護者・地域・教育等関係機関との双方向性を高め、連携・協働体制づくりをすすめる。

#### (2) 具体的な取り組み

##### ① 取り組みの重点

- ア 校内外における情報共有・連携、連絡・調整を密にする。
- イ 保護者・地域・関係機関との連携のもと、防災意識・危機対応能力を高める。
- ウ 学校情報・機能の提供、広報活動を通し、学校教育活動を活性化する。
- エ 施設・設備の安全管理、学習環境および職務・作業環境の向上を図る。
- オ 学校行事の精選・「山高街の駅」・体験活動への協力体制を推進する。

##### ② 取り組み内容

- ア 式典……………入学式・卒業証書授与式、始業式・終業式等の計画・準備・進行
- イ 学校行事……………行事計画・内容の検討・検証、行事案内発行、芸術鑑賞会の実施  
保護者・地域への広報活動(学校HPの充実・情報公開)  
行事等実施後の検証および具体的改善策の検討
- ウ 防災・危機管理 …… 防災安全マニュアルの改訂・発行  
防災避難訓練・防災教育副読本の活用  
防災教育行事・LHR(震災メモリアル行事・奉仕活動等)  
宍粟防災センターでの体験学習(1年生対象)
- エ 高校生ふるさと貢献活動事業…花植え活動・通学路等の清掃活動等
- オ 日番業務……………日番巡回記録(通年)・ストーブ使用に関する巡回
- カ 施設設備……………安全点検および施設整備・充実
- キ 施設管理・活用……………同窓会館、空き教室の有効利用 等
- ク PTA行事 …… 各行事での協働(総会等)・PTA名簿発行
- ケ 保護者対象行事 …… 学年懇談会・講演会・授業参観・オープンスクール・芸術鑑賞会等
- コ その他…………… 入学の手引・学校要覧発行

#### (3) 組織

##### ① 各係および分掌

- 総務 式典・行事などの計画・運営・記録 行事案内文書の作成
- 渉外 PTA・同窓会との調整
- 庶務 職員会議の記録、学校要覧・入学の手引き、職員・生徒名簿等の作成  
授業参観・オープンスクールの計画

○管 理 防災安全教育の企画・実施、各教室の管理・運用、日番業務・ストーブ当番の運用

② 主な実施式典の内容

○入学式・卒業式 該当ページを参照してください。

○着任式 平成30年4月9日（月）於：本校体育館

原田校長・大永主幹教諭・妙見教諭・横川教諭・出田教諭・桂教諭・小嶋教諭

寺尾教諭・土屋教諭・是安教諭・福永事務職員・藤澤実習員・吉田臨時教諭

由利臨時講師・北條臨時講師（養護）・泉臨時校務員が着任され、原田校長・大永主幹教諭よりご挨拶をいただいた。

○離任式 平成30年4月11日（水）於：本校体育館

野谷前校長・浦田教諭・古本教諭・大谷教諭・北野教諭・砂本教諭・小林臨時講師・

櫻井臨時講師より離任の挨拶をいただいた。（梅本教諭・山田隆教諭・山田広教諭・

森下臨時講師・矢原臨時講師・橋本実習助手・衣笠臨時事務職員・山本実習員・

中嶋臨時校務員は欠席）

(4) 防災関係

年度当初に安全（防災・学校安全）マニュアルを全職員に配布し、確認した。10月10日（木）第1学年を対象に津波避難に関する必要な知識の学習・避難時の課題に関する学習を実施。

12月14日（金）には避難訓練をはじめ、総合防災訓練、防災体験活動を実施した。

① 第1学年防災学習 平成30年10月10日（水）第6限目 於：同窓会館

津波避難に関する知識の学習・避難時の課題に関する学習を気象庁DVDを活用し実施。

<生徒感想>

津波がどのように発生するのかをはじめて知りました。くぼみができて波が2つに分かれている映像があったので、とても分かりやすかったです。今は身近に海はないけれど、東日本大震災などで苦しまれた人たちがたくさんいるので、今日改めて学ぶことができ良かった。「避難したら安全」という考えはだめだと知ったので、これから地震や津波があった時に役立てていきたいと思いました。

② 総合防災訓練、防災体験活動 平成30年12月14日（金）於：本校各所



実施学年・科等	実施内容	実施場所	担当職員
1年森林科(36名)	木造仮設住宅の設置	同窓会館前	西川・吉田照・尾西
1年生活科(39名)	非常食指導の見学	2年HR教室・同窓会館 職員室南駐車場	是安
1年普通科(133名) 宍粟消防署職員(2名) 総務部(1名)	土嚢積み体験 ロープワーク体験	新グラウンド等	東幸・妙見・寺尾・木下口 土屋・安養寺・小島 岡本・山脇・大永・吉田資
2年生活科(34名)	非常食指導 発表・防災クイズ	2年HR教室・同窓会館 職員室南駐車場	多々良・松本
2年森林科・普通科(195名)	非常食体験	3年HR教室・同窓会館 職員室南駐車場	長田・北山・合田・高島 縄手・藤阪・朝長・真鼻 福地・梶浦・小田
加生自治会・PTA( 名)	非常食体験	4年HR教室・同窓会館 職員室南駐車場	多々良・松本
3年(221名) 宍粟消防署職員(2名) 総務部(1名)	煙体験 搬送・応急処置訓練	体育館2F(入口側) 体育館2F(ステージ側)	中藤・上野隆・奥田・岡田 片渕・石橋・上野美・林・横川 住江・東俊・富士本・清水・安喰
生徒会執行部(12名)	炊き出し訓練(豚汁) 2年・1年森林科 建設業者等を対象	職員室南駐車場東端	上杉・妹尾・鏡田・桂・由利

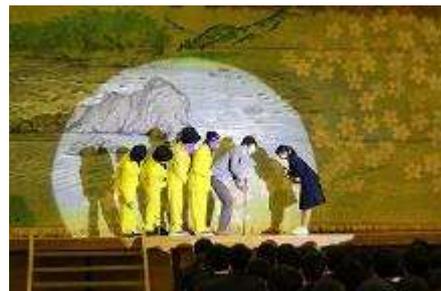
#### (5) 芸術鑑賞会

① 期 日 平成30年11月7日(水) 於：本校体育館

② 演 目 パペッション劇公演「タイムズアベニュー～ダニエルおじいちゃんと不思議な世界～」

③ 生徒感想

- ・今回、初めて劇をみて、セリフがないと聞いていたので、どんな劇かとても楽しみにしていました。実際に見てみると、とてもおもしろく、感動しました。1番心に残ったのは、先生や生徒が前に出て、一緒にダンスをしたシーンでした。私も今、将来どんな職業につきたいのか迷っているところだけれど、今回の劇から勇気をもらえました。
- ・テレビなどでは見たことがあったけど、直接見たのは初めてだったので、すごく面白かったです。始め、真ん中に立っていた方は何十分も動かずにいて驚きました。将来どんな道に進んでも、人を笑顔にできるのだなど、いろんなことに背中を押してもらえたような気持ちになりました。最後は、全員と握手とハイタッチができ、最後まで楽しませてもらって最高の2時でした。どの人もすごかったです。



(6) 高校生ふるさと貢献活動における花植え

平成30年7月9日（月） 於：老人福祉施設 ありがとう

第3学年生徒10名でベゴニア80株の植え付け作業を行う。

平成30年12月12日（水） 於：特別養護老人ホーム やまさき白寿園

第2学年生徒9名でパンジー40株・葉ボタン20株の植え付け作業を行う。



(7) オープンスクール

平成30年10月29日（月）～11月2日（金）

地域・保護者に開かれた学校を旨とし、1週間の授業・部活動を公開した。本年度は中学生・保護者の来校が多くあった。

(8) 募金関係

「赤い羽根共同募金」に生徒たちが参加し、募金額23,153円を宍粟市共同募金委員会に寄付した。

## 2 教務部

### (1) 経営目標

- ① 適切な課題設定と、乗り越えによる達成感・充実感を通して、学ぶ誇りと喜びを実感できる学校作りを目指す。
- ② 地域と連携し、地元における存在意義を高める学習活動を積極的に展開し、相互理解と信頼関係を構築する。

### (2) 具体的な取り組み

- ① 各教科・科目ごとの年間指導計画およびシラバスを作成し、効果的活用を図る。
- ② 学年と協力し、各類型の年間指導計画に基づき、学習内容を充実させる。
- ③ 教育類型の指導計画を作成する。
- ④ 公開授業 授業を公開し、各教科内外の指導力研鑽の場とする。
- ⑤ 学科改編に伴うカリキュラム編成について検討する。

### (3) 組織ならびに分掌事項

	教務係……【 本部教務 】
	教育課程・研究授業に関する事項……【本部教務、各教科主任、各科、学年 】
	学級編成に関する事項 ……【本部教務、学年教務 】
	生徒の出欠・学業成績及び諸表簿……【本部教務、学年教務 】
	生徒指導要録、 ……【本部教務、学年教務、担任 】
	総合的な学習に関する事項 ……【本部教務、学年教務 】
	入試関係 ……【本部教務 】
【大永】	庶務係……【 本部教務 】
	授業・時間割 ……【 福地・富士本・岡本 】
	定期考査、課題考査……【 福地・富士本・岡本 学年教務 】
	時間講師関係・講師連絡……【 大永・岡本】
	オープン・ハイスクール……【各科、各教科、教務（本部・学年） 】
	時間割作成 ……【本部教務、学年教務、各科、各教科 】
	インスパイア・ハイスクール……【本部教務、学年、北山 】
	学事係……【 本部教務 （大永・富士本） 】
	転・退学・休学に関する事項、生徒の諸届・各種証明に関する事項
	転入考査・入学検査、教育実習
	教科書係……【 本部教務、(富士本 福地) 】

### (4) 入試関係業務

『平成 31 年度兵庫県公立高等学校入学者選抜要綱』及び『平成 31 年度第 4 学区複数志願選抜実施要領』に基づいて、2 月 15 日(金)の専門学科推薦入試・普通科教育類型特色選抜、及び 3 月 12 日(火)の学力検査に係る入試業務を統括し、実施した。

(5) 平成30年度教務部担当行事（1年間の担当行事を時系列で紹介する。）

① 教育実習

平成30年5月28日（月）～6月15日（金）、10月29日（月）～11月16日（金）の期間中、本校卒業生（67回生）3名（保健体育・地歴公民・理科[生物]）が教育実習を行った。



② 校内研修

平成30年7月10日（火）、外部講師を招いて大学入試センター試験に代わる「大学入学共通テスト」の実施と「eポートフォリオ」活用について理解を深めた。

③ オープン・ハイスクール

平成30年8月20日（月）から8月22日（水）までの3日間、森林環境科学科、生活創造科、普通科のオープン・ハイスクールを行った。多くの中学生が参加し、同窓会館で吹奏楽部の歓迎演奏の後、生徒会役員による学校紹介、教員による模擬授業体験を実施した。



④ 授業日等に警報が発表されたときの対応（改訂）

本校生徒の実態に合わせ、居住地、授業の開始時間の見直しを行い、9月1日より施行した。

⑤ 研究授業（公開授業）

教員の授業力向上を目的に各教科、2学期及び3学期に1回実施した。



## ⑥ 高大連携大学体験プロジェクト

### ア 兵庫教育大学（大学見学）

平成30年11月8日(木)、2年生教育類型の生徒18名、文理科学類型文系の生徒38名が、兵庫教育大学の施設および講義の見学、在学先輩との交流を行った。



### イ 神戸親和女子大学（講演会）

平成30年8月8日(水)、原田校長が神戸親和女子大学に赴き、今後山崎高校が同大学の主催プロジェクト(授業、講演、大学説明会等)を無償にて活用できること、及び同大学の入学試験における協定校特別推薦制度を活用できること等を旨とする教育協定関係を三井知代学長との間で結んだ。この協定に基づいて、平成31年3月6日(水)、1・2年生教育類型の生徒36名が、神戸親和女子大学文学部総合文化学科教授溝口繁美先生(元兵庫県教育次長、元県立神戸高校長)を本校にお迎えして、教育概論「教員に求められるもの」と題する講演を拝聴した。元国語科教師としての長年にわたる教員経験と教育行政の中核で兵庫県教育の指揮を執られていたご経験から、教員に求められる資質や教員採用試験の実際について具体的な話があり、生徒たちは将来進むべき道を考える上で非常に貴重な機会となった。



### 3 生徒指導部

#### (1) 経営目標

- ① 全職員での共通理解を深め、全職員で生徒の指導に当たる。また、学年間、専門科、教育相談などとの連携を密にし、指導体制をより強化させる。
- ② 生徒指導の充実を図る。個々の生徒が自己実現をめざし学校生活を充実させるために、規律と責任を重んじ自律と協調の精神を養い、「生きる力」を育むことを重点に指導する。
  - ア 基本的な生活習慣を確立させ、欠席や遅刻・早退を減らす。
  - イ 端正な服装と、明朗で気品ある生活態度を育成する。
  - ウ いじめのない「安心・安全」な学校づくりに努める。
  - エ 交通規則の遵守に努め、交通安全教育を充実させる。
  - オ 情報モラルの向上に努める。
- ③ 特別活動の充実を図る。望ましい集団活動を通して学校生活の充実を図る。また豊かな情操と主体的、創造的に活動する力を育む。
  - ア 部活動への入部率を高め、活動をより充実させる。
  - イ ホームルーム活動・学校行事をより充実させ、生徒の参加意欲を高めさせる。
  - ウ 生徒会と各種委員会の積極的な運営を図り、その指導を徹底する。

#### (2) 具体的な活動 活動の重点（実施する予定・試みなど）

- ① 定期的な服装・頭髪検査の実施
  - ・一定の期間で点検を実施し、常時生徒に端正な姿を意識させる。
- ② 遅刻指導、登校指導、交通立ち番の実施
  - ・生徒指導部及び専門部で1年間継続的に遅刻・登校指導を実施する。連絡のない遅刻者については、生徒指導カード（遅刻）を発行する。
  - ・毎朝各学年で下駄箱をチェックし、欠席者を確認、職員室の出欠黒板に記入する。
  - ・毎月（8月は除く）1日と15日に通学路の立ち番を実施する。
  - ・5月・9月に早朝職員一斉指導を実施する。
- ③ 生徒指導カード（服装・遅刻）の発行
  - ・服装、頭髪の乱れ等、遅刻について注意と反省を促し、4回目以上は保護者に来校してもらい、指導への理解を得る。
- ④ 下校指導及び校外巡視の実施
  - ・学年、生徒指導部を中心に下校指導（服装・交通安全指導）を実施する。また、必要に応じて校外巡視を実施する。
- ⑤ 自転車、バス通学生への指導強化
  - ・地域からの苦情が出ないように、交通マナーアップを目指す。
  - ・自転車の点検を励行し、盗難防止やルール遵守の意識を高めさせる。またバス乗車中のマナー向上についても指導する。
- ⑥ 校内美化の徹底
  - ・保健部と連携して、美化委員を積極的に活動させ、特に、ホームルーム教室、教室前廊下の美化を徹底する。

⑦ 明るく元気で「さわやかな」学校づくり

・生徒会役員と生活委員を中心にしたあいさつ運動を計画的に実施する。

⑧ 携帯電話のマナー指導

・校内使用禁止に対応したマナー指導を強化し、違反行為に対しては保護者に来校してもらい、指導への理解を得る。

⑨ 地域への対応

・忠告、苦情に対して迅速な対応を行うことにより、日頃より協力を得る。

(3) 平成30年度 生徒指導部組織及び分掌

生徒指導係（上杉）……校内外の生活指導・生徒の賞罰・諸届：1年寺尾・2年北山・3年片淵

ホームルーム係（妹尾）…ホームルーム活動計画の作成・実施：1年妙見・2年北山・3年上野

生徒会係（妹尾）……生徒会の運営（鏡田）・生徒会会計（由利）1年妙見・2年真鼻・3年片淵

通学係（桂）……通学指導・自転車の管理：1年寺尾・2年真鼻・3年片淵

部活動係（上杉）……運動部長（上杉）・文化部長（多々良）

※指導カード係（上杉）・・・指導カードの集計と回収・  
学年への連絡

※全校（学年）集会の集合係…片淵（3年）真鼻（2年）  
寺尾（1年）

生徒指導委員会の組織（16名）

篠原・上杉・妹尾・鏡田・桂・由利・西川・多々良・東・  
寺尾・長田・真鼻・中藤・片淵・安喰

いじめ対応チーム（8名）

篠原・天野・上杉・梶浦・東・長田・中藤・安喰

(4) 昨年度からの課題

① 登下校のマナー指導

登下校の自転車や歩行者のマナー指導や交通安全が大きな課題になっている。昨年から実施した「早朝職員一斉立ち番」も今年度で二年目を迎え、その成果もあって特に登校時の交通安全に関する外部からの苦情や意見は減少した。引き続き生徒自身が自他の命を大切に、安全に通学する姿勢を身につける指導を継続していきたい。

② 文化発表会を活性化

昨年度に引き続き、生徒一人一人が活躍する場を増やし達成感のある文化発表会にするために、今年度は、オープニングの和太鼓演奏、野外ステージの設置、幕間の活用、エンディングでのエンドロール等、新しい活動を増やした。次年度に向けてより一層活性化していきたいという意見がでたことが大きな成果となった。



③ いじめの未然防止、早期発見、早期対応

いじめを適切に認知するために、昨年度から実施している「高校生心のサポート事業」と連携し、いじめのアンケートの回数を増やした。また、不登校の減少を目指し、安全で安心できる教育環境づくりに取り組んだ。

(5) 新たな取り組み

① 自己肯定感、自己有用感の育成

生徒会を中心に、クラスの各種委員が早朝交通立ち番、挨拶運動、募金活動を定期的に行い、自己肯定感・有用感の向上を図った。平成30年の西日本豪雨での被災者支援復旧ボランティアにおいて、野球部・男子ソフト部・卓球部・有志生徒が中心となり地域の手助けをした。また、生徒会を中心に校内や姫路駅周辺での募金活動を複数回実施し、生徒会代表が宍粟市役所に赴き、福元市長様に直接義援金として手渡し、被災地復旧・復興への山高生の想いを届けた。



神戸新聞

平成30年8月2日(日)



神戸新聞

平成30年8月29日(水)



## 4 進路指導部

### (1) 経営目標

あらゆる教育活動を通じて、個々の生徒の能力・適性を把握し、その伸長に努めるとともに、生徒に人として望ましい生き方を自覚させ、自らの力で進路を選択し実現できる能力や態度を育成する。

### (2) 重点目標

- ① 生徒各自の進路意識を高め、適性・希望に応じた進路目標の早期確立とその実現を目指す。
- ② 個々の生徒の学力向上と、自らの進路目標を達成させるための自立能力の向上を図る。
- ③ 保護者・生徒・教師の連携を密にし、適切な進路指導を行う。

### (3) 具体的な取り組み

- ① 進路情報の収集整理と提供、FINEの有効利用
- ② 補習授業・各種模擬試験・面接指導の実施
- ③ 計画的な求人開拓・就職支援
- ④ 進路ガイダグスの充実
- ⑤ 保護者・生徒との進路相談
- ⑥ 保護者・地域と協力したキャリア教育の推進
- ⑦ 学校見学・職場見学・看護体験の実施
- ⑧ インターンシップの実施



進路ガイダグス(講演)

### (4) 組織

住江	{	就職係	清水、西川、石橋、合田、木下				
		進学係	東俊、小田、上野美、朝長、土屋				
		森林環境担当	西川				
		生活創造担当	小田	データ係	小田		
学年模試係	3年	上野美、石橋	2年	朝長	1年	木下	
学年進学係	3年	上野美	2年	朝長	1年	土屋	
学年補習係	3年	上野美	2年	朝長	1年	木下	
学年就職係	3年	石橋	2年	合田	1年	木下	



センター試験激励会  
(本校同窓会館：1月18日)



試験会場で激励「きっと勝つ！」  
(神戸医療福祉大学：1月20日)

### 山崎高等学校平成30年度進路状況(平成31年3月)

国公立4年制					
	学校名・企業名・区分	学部名・職種	学科名・職種	コース	試験種類
1	尾道市立大学	経済情報	経済情報		CTなし国公立推薦
2	愛媛大学	工			CTあり国公立推薦
3	兵庫教育大学	学校教育			CTあり国公立推薦
4	山口大学	工			CTあり国公立推薦
5	島根大学	人間科学			CTあり国公立推薦
6	鳥取大学	看護			CTあり国公立推薦
7	鳥取大学	看護			CTあり国公立推薦
8	兵庫県立大学	工			CTあり国公立推薦
9	新見公立大学	健康科学	看護		前期
10	島根県立大学	総合政策			前期
11	高知工科大学	情報学群			前期
12	下関市立大学	経済学			前期
13	鳥取環境大学	環境			前期
14	岡山大学	教育			前期
15	島根大学	総合理工			前期
16	大阪大学	工学			前期
17	金沢美術工芸大学	美術			中期
18	愛知県立芸術大学	美術			後期

私立4年制		
	学校名	人数
1	関西学院大学	4
2	関西大学	2
3	同志社大学	1
4	立命館大学	1
5	京都産業大学	2
6	近畿大学	2
7	甲南大学	1
8	龍谷大学	1
9	神戸学院大学	15
10	神戸女子大学	5
11	神戸親和女子大学	6
		他 計 101名

公立短大					
	学校名・企業名・区分		学科名・職種	コース	試験種類
1	津市立三重短期大学		生活科学	食物栄養学専攻	公募推薦

公務員		
	公務員	人数
1	消防官(西播磨)	1
2	地方公務員(宍粟市)	1
3	自衛隊一般曹候補生	2
4	兵庫県職(一般事務・教育事務)	2

種別	人数
国公立4大推薦	8
国公立4大一般	10
私立4大	101
公立短大推薦	1
私立短大推薦	13
専門学校推薦	32
企業就職	53
公務員	6

224



③ 救急法講習会

ア 日 時 平成30年7月12日(木)

イ 目 的 心肺蘇生法やAEDによる緊急時の対応、熱中症に対する注意・対応について実技指導や理論について理解を深めた。

ウ 講 師 学校医井上医師・西播磨広域消防署員

エ 対 象 運動部員(マネージャーを含む) 220名



④ 薬物乱用防止講演会

ア 日 時 平成30年10月4日(木) 第6校時 イ 場 所 同窓会館

ウ 目 的 薬物による健康被害について理解を深めるとともに、薬物乱用の実情をふまえて適切に行動し心身ともに安全、健康に生活する力を高める。

エ 講 師 学校薬剤師 <sup>あがた</sup> 俊孝氏 オ 対 象 第1学年

カ 感 想 喫煙、薬物使用・薬物依存が起こす様々な問題について理解を深めることができた。



⑤ 献血講演会

ア 日 時 平成30年11月14日(水) 第6校時

イ 目 的 血液提供の意義と献血の現状について理解を深めることにより、命の大切さや助け合いの心を養う。

ウ 講 師 兵庫県赤十字血液センター 職員 エ 対 象 第3学年

オ 生徒の感想 献血活動の現状やその意義について理解ができた。また、献血活動によって社会貢献ができることもよくわかった。

⑥ 献血ボランティア

ア 日 時 平成30年12月20日(木) 午後

イ 目 的 血液提供の意義と献血の現状について理解を深めることにより、命の大切さや助け合いの心を養う。

ウ 講 師 兵庫県赤十字血液センター エ 対 象 第3学年

<生徒の感想> 献血活動に参加して、本当に良かった。また機会があれば献血をしたいと思う。

⑦ 職員対象カウンセリングマインド研修

ア 日 時 平成31年2月4日(月) 13:30~14:30

イ 目 的 研修を実施することで生徒理解を深める知識や技能を高める。

ウ 講 師 向井明美先生 (本校キャンパスカウンセラー)

エ 対 象 全職員

⑧ 学校保健委員会

ア 日 時 平成31年2月7日(木) 13:30~15:00

イ 目 的 平成30年度学校保健関係について情報の共有及び課題の解決について協議を行った。

ウ 参加者 学校医、PTA 会長、学年主任・体育科教員・関係職員

エ 講 演 林歯科医による講話

⑨ 教育相談

ア 計 画 年間25回 (研修会を含む)

イ 場 所 教育相談室

ウ スクールカウンセラー 向井明美先生

⑩ その他

ア 美化関係

- ・美化委員会による、定期的な美化点検の実施 ・ペットボトル・キャップ等の処理、
- ・学期末のワックスがけの実施、清掃用具の点検、モップ交換

イ 日常の保健活動

- ・保健室での生徒対応 ・緊急時の対応 ・感染症対策 ・疾病対応・けがへの対応
- ・保健関係の情報公開、情報の収集・整理

## 6 図書・人権教育部<H30経営方針>

### (1) 経営目標

- ① 生徒の読書意欲の向上を図り、心豊かな人間性を養い、判断力、想像力、思考力を育てる。
- ② 学習資料センターとして、生徒の学習意欲を養い、生涯学び続ける態度を育てる。
- ③ 学校、家庭、地域において様々な学習や体験活動を通して、生命尊重の精神や、人権感覚を身につけ、互いを認め合いながら共に生きる「共生社会」の実現のため、主体的に取り組む意欲と態度を育てる。

### (2) 具体的な取り組み

#### ① 取り組みの重点

- ア 図書館規定を遵守し、利用しやすい雰囲気づくりをする。
- イ 定期購読雑誌の見直しと、蔵書の充実をする。
- ウ 図書委員の責務の自覚と、自主的な図書館運営ができるようにする。
- エ 学年別読書会を年1回、山高読書会（図書委員）を年1回実施する。
- オ 様々な問題のなかで、人権問題についての正しい認識を養い、問題解消に取り組むための意欲や態度を育てる。
- カ 進路保障に取り組むとともに、自ら進路を切り拓き、目標を実現するための力を育てる。
- キ 差別や偏見、人権侵害に直面した時、自ら判断し解決に向けた取り組みができる力を育てる。

#### ② 実施計画

- ア 図書館利用の指導資料及び図書委員の活動報告資料の「やまびこ」発行
- イ 図書館報「ゆうとぴあ」発行
- ウ 感想文集「山帰来」発行
- エ 視聴覚機器・教材の整備（図書室）
- オ 各学年、LHRを利用した人権学習を実施する。

#### 各学年の目標

- [第1学年] 互いの人格を認めあいながら、身近な問題を討議できるホームルーム作り努める。
- [第2学年] 人権に関する様々な問題を社会科学の視点から客観的に把握し、自分たちに何ができるか考え、できることから行動する力量を高めていく。
- [第3学年] これまでの学習を基礎に、社会に出てから差別や偏見に直面した時、自ら判断し、行動できる力をつける。

- カ 人権作文の有効な活用をはかる。
- キ 人権に関する映画鑑賞会、講演会等を実施する。

### (3) 組織 安喰—山脇、○ 図書係：山脇、多々良

読書指導係：山脇 1年—横川 2年—縄手 3年—吉田照

人権教育係—安喰・多々良 1年 横川 2年 縄手 3年 吉田照 渉外係 安喰

### (4) 本年度の取り組み

#### ① 人権教育映画鑑賞会 平成30年10月31日（水）13:05～15:15 本校体育館

- ア 目的 人権教育映画の鑑賞を通して、命を尊重する心や人と人とのふれあいを大切にし、他者を思いやる心を育む。今年、お茶の水女子大学でトランスジェンダー（性同一性障

害)の学生を受け入れるという発表や、東京大学名誉教授で日本文学研究者のロバートキャンベル氏が同性婚を公表するなど、LGBTをめぐる報道が注目を集めている。この映画を見ることで、トランスジェンダー(性同一性障害)だけでなく、広く、マイノリティ(社会的少数者)や障がいを持つ人たち、またいじめなどについても深く考える機会とする。

イ 映画題名 「彼らが本気で編むときは、」

ウ 生徒の感想

・最近、話題になっている性についての問題を改めて考える良い機会になりました。自分には完全には理解できていませんが、ある大学では、性別の欄に「男」「女」「どちらともいえない」を選択するという案が出たと新聞で読んだこともありましたが、同性結婚を認めている国もあるそうなので、自分もそういうふうに理解ができる人間になりたいと思いました。

② 人権作文コンクール

「祖母から気付かされること」	1年6組	藤本 温子	優秀賞	「しろう」掲載
「児童虐待」	2年2組	植田 詩野	入選	
「私が思うこと」	3年5組	谷口 楓歌	優秀賞	「しろう」掲載

③ 読書感想文コンクール

ア 播磨西高校読書感想文コンクール佳作 「幸福な食卓」を読んで 3年2組 田中 沙弥

イ 校内読書感想文コンクール優秀賞

「いのちを感じて」	1年5組	藤多 文
「明日になったら」を読んで	1年6組	谷林 桜来
「西の魔女が死んだ」	2年5組	福井 晴美
「幸福な食卓」を読んで	3年2組	田中 沙弥
「看護の力」を読んで	3年5組	宮本 瑠奈
「112日間のママ」	3年5組	小島 真珠

## 7 生徒会の取り組み

### (1) 入学式校歌斉唱

- ・新入生を前に、合唱部と合同で校歌を披露

### (2) 対面式・部紹介

- ・生徒会長の新入生歓迎挨拶（対面式）
- ・準備、司会、進行（部紹介）

### (3) 文化発表会

- ・準備と当日の運営

準備では、パンフレット作成や会場準備をはじめとして、当日の司会や舞台照明、緞帳の上げ下げなど、入念にリハーサルを繰り返しました。また、今年度は新しい取り組みとして野外ステージを組み、有志の参加も多く募り、大いに盛り上げることができた。



### (4) オープンハイスクール

- ・学校説明や学校生活紹介
- ・中学生の誘導
- ・模擬授業補佐



### (5) 球技大会 ・準備と当日（本部・各競技会場）の運営

### (6) 体育大会 ・準備と当日の運営補佐（司会、記録用紙準備等）

### (7) 防災体験活動 ・千人鍋

豚汁の炊き出し訓練として、当日は朝6:30から準備し、地域の方々・在校生・職員に配布した。

寒空の下での防災体験活動は、今年度全校生を挙げての訓練となり、自分たちに出来ることを考える良い機会となった。



(8) 山高街の駅

- ① 5月26日(土) 咲ランドショッピングセンター  
子どもを対象に、魚釣りゲームやボーリングで一緒に遊び、やまちゃん・さきちゃんと一緒に来場者と触れ合った。
- ② 6月23日(土) 学校(森林科棟及び特別教室棟)  
キッズスペースを準備し、輪投げや折り紙など、ピザ釜体験教室参加者と触れ合った。
- ③ 2月2日(土) 咲ランドショッピングセンター



(9) 義捐金活動

- ① 西日本豪雨災害(平成30年7月豪雨)  
西日本を中心に起こった豪雨災害を受け、宍粟市に向けて義捐金活動を実施した。  
○校内(7/10~7/20)…生徒の登校時に昇降口で活動 **¥83,000**(生徒¥24,000+職員¥59,000)  
○市役所1階ロビー(7/20)…伊和高校のボランティア部と合同で、市役所で活動 **¥74,579**  
○姫路駅前(8/28)…夏休み中に姫路駅前で活動 **¥46,717** ※いずれも宍粟市役所へ寄託。  
② 北海道胆振東部地震 ※公共財団法人神戸新聞厚生事業団へ寄託。  
北海道で9/6に起こった地震に向けて、生徒の登校時に昇降口で活動 **¥9,737**

(10) 本多祭り 11月4日(日)

「第2回 宍粟山崎本多まつり」にボランティアとして生徒会の生徒4名が参加しました。女子2名は着物姿で野点を手伝い、男子2名は甲冑姿で武者行列に参加した。

(11) 神戸マラソン出場選手応援 11月18日(日)

「第8回神戸マラソン」のキャラクター沿道応援イベントにやまちゃん・さきちゃんと一緒に参加し、他キャラクター(「はばタン」や「せんとくん」と共にランナーに声援を送り応援を行った。



※その他の日常的活動

挨拶運動/表彰伝達式/播磨特別支援学校文化発表会/  
芸術鑑賞会司会・花束

※このような諸活動を通じて社会性やリーダーシップが養われ、将来地域社会を力強く支えることのできる人材として育てられている。彼らの今後の人生の大きい糧となることであろう。

## VI 各部活動の取り組み

### 1 運動部

#### (1) 男子バレーボール部

顧問 片淵貴史、木下勝晴

部員：1年10名、2年9名、3年5名

第1位 2月県新人大会、ベスト8進出

第2位 冬季西播大会、準優勝

第3位 秋季西播大会、準優勝

その他 私達、男子バレーボール部は「近畿大会出場」を目標に日々練習に励んでいます。体格がバレーボール選手としては小柄です。ですが小さいから出来るバレーを追求し、レシーブでの粘りと繋ぎ、多彩で速い攻撃を持ち味とするチームです。去年まで近畿大会に2年連続出場をしましたが、今年度は出場をかけた試合で敗戦し3年連続とはなりませんでした。新チームになってからは西播地区準優勝と順位を1つ上げ、県ベスト8入賞と近畿大会出場を目指しています。地元出身の部員がほとんどです。チーム内でお互いに切磋琢磨しあっています。山高バレーで地域を代表できる部活動を目指し日々精進していきます。



#### (2) 女子バレーボール部

顧問 長田年広、福地晴彦

部員：1年5名、2年4名、3年5名

第1位 2月県新人大会、2回戦進出

第2位 西播2部昇格

その他 昨年9月の西播後期リーグ戦では、3部から2部に昇格することができました。また、12月の後期西播大会兼県新人大会予選では、敗者戦を勝ち上がり6年ぶりの県大会出場を決めました。勝っても負けても最後まで全力を尽くす姿勢がこの結果につながったと思います。これまで伝統を培ってこられた先輩方、いつも送迎や応援をしていただいている保護者の皆さんのおかげだと感謝しています。「少ない人数でも自分の役割を果たし、良いチームにする」ということをモットーにして、一つでも多くの勝利を手にすることを目標にしています。



### (3) 男子バスケットボール部

顧問 高島毅、東幸一郎

部員：1年3名、2年4名、3年13名

第1位 Bリーグ昇格

第2位 少人数でも活動

第3位 3×3大会で参加者が過去最高

115名

その他 自分たちの目標を達成するため、厳しい練習

に取り組んでいます。部員数が少なく、平均身長も低いチームですが、一人ひとりの創意工夫、心技体の成長により不利を補い、チームとして前進しています。目標を見据え、努力を継続する毎日を糧に、人間としての成長をさらに積み上げていくことができると信じています。今後のコート内外での選手たちの活躍をご期待ください。



### (4) 女子バスケットボール部

顧問：朝長耕平、奥田統敏 部員：1年7人、2年5人、3年4人

部員のほとんどが未経験者ですが、みんなで力を合わせて一生懸命練習しています。練習では、動きの速さも判断の速さもスピーディーに行えることを大切にしており、日々の部活動は充実したものになっています。平日は18時半までの2時間、休日は3時間の練習時間となっています。月に2回程度の休日（おもに日曜日）が練習休みの日となっています。Cリーグ昇格を目標としており、チーム一丸となって頑張っていますので、これからの活躍を楽しみしてください。



H30年度の戦績

月 日	大会名	結果
4月22日	前期西播 Dリーグ1回戦	山崎 61-51 上郡
4月22日	Dリーグ2回戦	山崎 33-53 夢前
8月9日	西播高校夏季 Dリーグ1回戦	山崎 39-56 姫路飾西
11月17日	後期西播 Dリーグ1回戦	山崎 40-55 姫路飾西
1月12日	西西播 1回戦	山崎 62-49 相生産業
1月12日	西西播 2回戦	山崎 42-125 龍野

## (5) 卓球部

顧問 北山新二、上野美枝、多々良恵

部員：男子1年7名、2年3名、3年7名

女子1年4名、2年1名

第1位 5月総体、男女ともに団体県大会出場

第2位 10月新人戦、男女ともに団体県大会出場

その他 常に屋内の練習場所があるという恵まれた環境

であることに感謝しつつ、「心」「技」「体」を鍛える

べく熱心に練習に打ち込んでいます。5月の県総体

西播予選では、男子が団体でベスト8に入り、女子は団体で敗者復活戦を勝ち上がり、それぞれ県大会へ出場しました。

10月の西播新人戦でも、男子が団体でベスト8に入り、女子も団体で敗者復活戦を勝ち上がり、それぞれ県大会へ出場しました。県大会では、県総体は男女ともに初戦敗退、新人戦ではこれも男女ともに2回戦敗退でした。現在も県大会出場を当面の目標としてチーム一丸となり、日々の練習から緊張感を持って頑張っています。



## (6) 男子ソフトボール部

顧問：上野隆司、小嶋克政、尾西芳和

部員：1年12人、2年12人、3年9人

第1位 近畿大会3位入賞（3年生を含む）

第2位 兵庫国体男子ソフトボールの選抜メンバーに4名が選出

第3位 県民大会優勝（新チーム）

その他 神戸野田高校の加入により兵庫県下のチーム

数が増加したこと。私たち男子ソフトボール部は、新

チームに迎える最初の大会である平成30年度夏の県

民大会では1位という輝かしい成績を収めることがで

きました。続く秋季大会では優勝候補の明石高校に惜

しくも敗れ、全国行きの切符を逃してしまいました。が、

次の総体でリベンジし、全国大会に出場することを目

標に日々練習に取り組んでいます。いつも送迎や応援

をしてくださっている保護者の方々への感謝の気持ちを忘れずに一生懸命取り組んでいきますので、今後とも男子ソフトボール部への応援を宜しくお願いします。



## (7) 女子ソフトボール部

顧問：中藤剛成、横川淳美、由利衣衿 部員：1年11人、2年7人、3年8人

第1位 兵庫県高等学校新人ソフトボール大会 ベスト4

11月3～5日に神戸市・しあわせの村で行われました。1回戦は加古川南高校に6対2で勝利。2回戦は西脇高校に6対3で勝利。3回戦の東播磨高校戦では、8対5で勝利。そして決勝進出をかけた私立神戸野田高校戦では2対0で惜しくも敗戦。多くの保護者の方々が応援に駆けつけてくださった中での公立高校唯一のベスト4入りを果たし、総体のシード権を獲得できたということもあり、選手たちは自信がついたと思います。



第2位 西播大会 優勝

9月22～23日、10月6日に上郡高校、龍野北高校で行われました。

2回戦は市立姫路高校に4対1で勝利。準決勝は龍野北高校で、4対1で勝利。太子高校との決勝戦は7対0（5回コールド）で勝ち、前期の悔しさを晴らし優勝することができました。試合に合わせてモチベーションを維持することや、悪条件の中で戦うことの難しさを実感し、これから厳しい試合を戦っていくための良い経験となったと思います。



第3位 県総体 ベスト16

6月2～3日（前節）、8～10日（後節）に3年生最後の大会として臨みました。

前節は八鹿高校に9対3（8回タイブレーカー）で勝利。後節では試合会場を但馬ドームに移し、2回戦の高砂南高校に11対0（3回コールド）で勝利。3回戦では私立神戸星城高校にベスト8をかけて挑みました。結果は7対0（6回コールド）で敗れてしまいましたが、3年生は最後の集大成として悔いのない良い試合ができたのではないかと思います。

## (8) 野球部

顧問：妹尾昌昭、上杉祝久、出田勝弘

部員：1年 4人、2年 7人、3年 13人

第100回全国高校野球選手権大会兵庫大会

2回戦 山崎 VS 県立農業 (勝利)

3回戦 山崎 VS 洲本 (敗退)

秋季兵庫県高校野球西播大会

1回戦 山崎 VS 佐用 (敗退)

敗者復活 山崎 VS 相生 (敗退)

日々の取り組み

早朝7時より自分磨きのため毎日地域清掃に取り組んでいる。その成果として、生徒一人一人が地域社会に貢献する心を身につけることができている。また「THE 高校野球」を目指し、全力PLAYを心がけ日々鍛錬している。



## (9) 陸上競技部

顧問 梶浦永人、西川雅之、岡田咲子

部員：男子1年6名、2年2名、3年3名

女子1年4名、2年0名、3年4名

第1位 県新人戦1年男子5000m10位

第2位 西播新人駅伝にエントリー

第3位 1年生が7名入部して活性化

その他 昨年度の入部者が少なく、今年度の



部活動が不安視されていましたが、10名という多くの新入部員を迎え、元気に新年度のスタートがきれたことに喜びと感謝の気持ちでいっぱいです。初心者が多く手探り状態での部活動ですが、それぞれの選手が自己の目標と課題に対して真摯に向き合って努力をしています。競技者としても当然ですが、挨拶ができ、マナーを守り、周囲に対して感謝の気持ちを忘れないなど高校生として当然のことも実践していきたいと考えています。

## (10) 男子ソフトテニス部

顧問：住江正典、藤坂敦夫 部員：1年 2人、2年 10人、3年 7人

**第1位 前期西播大会団体戦ベスト8、21年ぶりの県大会出場。**

西播大会団体戦では姫路工業、シードの淳心学院に、それぞれ2-1で勝利し、ベスト8、山崎高校男子ソフトテニス部21年ぶりの県大会出場を果たした。県大会では1回戦で村野工業に敗れたが、男子テニス部にとって歴史的な快挙となった。

**第2位 3年生服部・横田ペア、宍粟カップ個人戦2大会連続優勝。**

1番手ペアの服部・横田ペアは宍粟カップ個人戦を2連覇。後の県大会出場への弾みとなった。

第3位 年度当初、新入部員がゼロで、部の存続が危ぶまれたが、2学期になり2名の1年生を迎えることができ、1・2年生そろっての活動が可能となった。

その他 今年度、前期西播大会でベスト8入りしたことにより、来年度の総体団体戦のシード校となっている。1勝すれば、県大会へ進むことができ、敗れても敗者復活戦に回るチャンスももらえている。先輩がしてくれたこのアドバンテージを最大限に生かして、今の1・2年生にも是非県大会へ出場してもらいたい。



## (11) 女子ソフトテニス部

顧問：真鼻朋美、妙見律子

部員：1年10人、2年 0人、3年 9人

3年生奇数からのスタートであったが、1ペアは初心者1年生と組み、全員が最後の前期西播大会に出場した。団体戦も含めて、1回戦敗退ではあったが、3年間をやり尽くして引退となった。

3年生引退後は、初心者の1年生ばかりの活動となったが、コツコツと練習を重ね、前衛、後衛共に、それぞれの働きが出来るように成長してきている。一人ひとりが課題を意識して練習を継続し、西播大会で一つでも多く勝利し、県大会への出場を目指していきたい。



## (12) 剣道部

顧問 石橋裕之、是安由美、北條哲子

部員：1年5名、2年4名、3年0名

第1位 春季西播大会個人男子準優勝

第2位 春季西播大会で県大会への出場権

獲得 団体・個人2名

その他 私たち剣道部は現在、「近畿大会出場」を目標に監督や顧問の先生の助言や指導を聞きながら日々稽古に励んでいます。

人数は少ないのですが、各々が「守・破・離」の教えのもと、主体的に練習をし、剣道を通して自らの人間性を磨いています。応援して下さる保護者の方々や地域の方々への感謝を忘れず、今後も「目配り、気配り、感謝を忘れない心」をモットーに、日々精進してまいります。応援をよろしくお願い致します。



## (13) 柔道部

顧問 林幹夫、大永秀徳、岡本潮

部員：男子1年2名、2年2名、3年3名

女子1年2名、2年0名、3年1名

第1位 秋季新人戦女子個人ベスト8

第2位 春季県大会男子団体ベスト16

第3位 女子団体戦出場用件の3名の部員

その他 私たち柔道部は日々コツコツと技の鍛錬を積み重ね、身体だけではなく、心を鍛えることも目的として活動しています。女子も3人になり、

女子団体にも出場できるようになったので、男女とも、個人・団体どちらにも上位入賞することを目指し、努力を続けています。



## (14) 水泳部

顧問 吉田照代、安喰己法、縄手晴日

部員：男子1年2名、2年4名、3年3名

女子1年2名、2年4名、3年3名

第1位 6月県総体で男子リレーにも出場

第2位 西播大会で多くの部員がベストタイム

第3位 9月県ジュニア2日目、警報で中止

その他 部員の人数も多くなり、今年もリレーに出場しようと部員一同、張り切っています。

水泳は生涯スポーツとして楽しめるだけでなく、心身の鍛錬にはもってこいの競技です。総体や県ジュニアの大会では、昨年度の成績を越えられるように、部員一人ひとりが目標をもって取り組み、全員が自己ベストを更新しようと、日々努力しています。応援よろしくお願ひします。



## (15) バドミントン部

顧問 富士本卓、桂知樹、安養寺優

部員：男子1年5名、2年15名

女子1年5名、2年4名、3年1名

第1位 西播新人戦男子S、女子W ベスト16

第2位 一人だった3年生が卒業

その他 部員の多くは競技未経験者で、まずは

イメージと現実のギャップに驚くところから始まります（とにかく暑い！しんどい！）。しかし、快音を発して飛んでいくシャトルや緩急差の激しいラリーの応酬など、たくさんのバドミントンの魅力を発見し、部員たちは日々上達するよう練習に励んでいます。今年も男女一丸となり勝利を目指し、いろいろな方に応援してもらえる活動を目指して頑張ります！



## (16) サッカー部

顧問：鏡田良太、寺尾亮、土屋力也 部員：1年 12人、2年 19人、3年 18人

第1位 11月に行われた西播予選大会初戦で龍野高等学校（平成29年度県2部リーグ所属）に対して2-2で引き分けに持ち込んだ。先制点を守り抜くことが出来なかったために勝利とはならなかったが、全体的に有効な攻撃場面も多く白熱した一戦となった。

第2位 西播リーグ3節以降は無失点5連勝を記録し勢いに乗った。1節の棄権が無ければ2部昇格も十分実現可能な好成績でのスタートとなった。

その他 本年度は新しく2人の顧問、初心者を中心とした新入部員を迎え新チームがスタートしました。リーグ戦は白星でスタートし、2部昇格を目指し新チームとして努力を重ねています。県総体では残念ながら初戦敗退となりましたが、チームにとって記憶に残る試合となりました。保護者の皆様におかれましては、多忙な中学生の送迎など継続的なご支援を頂きましてありがとうございます。引き続き応援ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。



光る汗、輝く瞳、今青春！

## 2 文化 部

### (1) 測量部

顧問 奥田敏統、合田尚也

部員：1年0名、2年3名、3年3名

その他 測量部は夏に開催される兵庫県学校農業クラブ大会測量競技大会で最優秀賞の受賞を目標に日々練習に励んでいます。測量は、チームワークが大切で、小さなミスが大きな誤差に繋がるので難しいです。ですが、ぴったり合った時の喜びはとても大きいのが魅力です。応援よろしくをお願いします。



### (2) 華道部

顧問：吉田資子、北條哲子

部員：1年 4 人、2年 0 人、3年 0 人

月に1・2回、講師の深川先生の丁寧で温かいご指導のもと、季節の花々を生けるとともに、礼儀作法も学んでいます。

また、毎回の稽古で部員が生けた作品を玄関に飾らせていただ

いています。クリスマスにはリースを作り、お正月の特別な花活けもしています。部員は、1年生ばかり4名ですがグングン腕を上げています。

夏には、毎年行われる全国「花生けバトル」に挑戦予定です。



### (3) 写真部

顧問 福地晴彦、妙見律子

部員：1年4名、2年7名、3年2名

第1位 秋季写真コンテストで県大会への出展が決定

第2位 春季写真コンテストへの出展作品の制作

第3位 インターハイスクールフォトコンテストへの出展 制作

その他 写真部は、日々の活動を通して物を見極める目と感性を養い、写真技術の向上を図り、春季と秋季の年2回の写真コンテストに向けて1作品でも多く入選できるように部員たち全員が一生懸命に取り組んでいます。また、山崎高校の様子を写真に収め、山崎高校の真の姿を写真部として発信できればと考えています。



#### (4) 箏曲部

顧問：縄手晴日、多々良恵

部員：1年1人、2年0人、3年3人

第1位 第59回県高等学校邦楽連盟西播磨支部演奏会出

場 西播磨支部演奏会では、水野利彦作曲「燐光」という曲を演奏しました。他校に比べると少人数ですが、息の合った演奏をホールいっぱいに響かせることができました。3年生は最後の舞台上で力を出し切ることができました。



第2位 第42回県高校総合文化祭邦楽部門演奏会第33回兵庫県高等学校邦楽コンクール出場

3年生が引退し、1年生1人で出場した県大会では吉崎克彦作曲「風にきけ」という難曲に挑戦。その他 箏曲部は少人数ですが和気あいあいと楽しみながら、一生懸命に練習に励んでいます。箏曲というと、お正月に流れる難しい曲がイメージされますが、山崎高校箏曲部では伝統的な箏曲に加え、ロックなどを取り入れた現代曲、流行りのJ-POP、アニメの主題歌まで、幅広い曲を演奏しています。最近は漫画やアニメでも話題の箏曲部で、仲間と一緒にお箏を楽しみましょう。

#### (5) 科学部

顧問 林幹夫、山脇誠史、石橋裕之

部員：1年0名、2年0名、3年0名

第1位 数学・理科甲子園への出場

その他 「楽しくなければ科学じゃない」。これがこの部の合言葉です。近年では「美味しくなければ科学じゃない」と言いながら「飴」の科学にのめりこみ、「山高街の駅」に出品しています。



また、「天然酵母」の熟成からパン作りなどを行いました。コンピュータに秀でた部員は、マイクロコンピュータの組み立てなどもやっておりました。写真は巨大空気砲です。部員の興味に応じて色々なことに挑戦しています。

#### (6) 合唱部

顧問 是安由美、吉田照代

部員：1年0名、2年3名、3年1名

第1位 「宍粟、絆で歌う夏の第九と神田将（かんだゆき）のクラシック」に出演

第2位 文化祭に出演

第3位 西播高校音楽祭に出演

その他 少人数ですが、毎週火・木曜日に和



気あいあいと練習をしています。毎年6月の文化発表会では合唱曲の他、ポップスを披露し、全校生に歌の楽しさを届けています。他校との合同で西播高校音楽祭や県総合文化祭にも出演し、大舞台上で歌うことでハーモニーの美しさ心地よさも体験しています。宍粟市で開催されている第九コンサートにも参加し、異世代・大人数で歌うことの経験もしています。

## (7) 吹奏楽部

顧問：合田尚也、松本智絵美、清水茜

部員：1年9人、2年10人、3年9人

第1位 兵庫県吹奏楽コンクール 小編成部門  
出場・金賞受賞

部員全員が気持ちを一つに演奏をすることができた結果、金賞受賞、更に何年も途絶えていた県大会への切符を手に入れました。8月14日に行われた県大会でも魂のこもった演奏を披露、そして金賞を受賞することができました。地区大会、県大会共に金賞という結果をいただき、3年生にとっては有終の美で3年間の部活動を終えることができました



第2位 アンサンブルコンクール 西播地区大会

本校からはクラリネット3重奏、金管8重奏の計11名が参加しました。夏のコンクールとはまた違う緊張感の中で練習をしました。本番も、いつもの人数とは違って、3人、もしくは8人での演奏だったのでとても緊張しましたが、持っている力は全て出し切れたと思います。結果は惜しくも銀賞でしたが、この大会で得たことや見えた課題を、これからの個人のレベルアップへの糧にしたいと思います。

## (8) 美術部

顧問：岡本潮、藤坂敦夫

部員：1年1人、2年4人、3年4人

第1位 兵庫県総合文化祭美術・工芸部門に出品

今年も兵庫県総合文化祭美術・工芸部門に出品しました。今回は平面を三作品、立体を2作品出品し、全員が出品することを心がけました。平面作品の中で2年生の山田美衣菜さんの作品『卒業』がデザイン部門で奨励賞をいただいたことは、本人の自信にもつながってくれたのではないかと思います。



第2位 ゆずしそしょうゆのラベルをデザイン！

本校の生活創造科と八木醤油(株)さんとのコラボ商品である「ゆずしそしょうゆ」のラベルのデザインを美術部2年の宮藤朱裕輝さんが担当し、かわいらしいデザインとなりました。



第3位 ザ・チャレンジ！

今年はいろいろなものに挑戦した年でした。デジタル作品のためにPC環境が入り、今まではあまりされてこなかった水彩画などにも挑戦しました。今後も日本画などにも挑戦する予定です。

## (9) 茶道部

顧問 松本智絵美、小田美穂

部員：1年3名、2年5名、3年1名

第1位 本校文化発表会で出店

第2位 5月山崎ぼうさいセンターで茶席

その他 月曜と火曜に作法室にてお稽古に励んでいます。

文化発表会では、昇降口前にテントを張り、お茶席を設

けました。たくさんのお客さんにお茶を楽しんでいただけました。茶道を学ぶことで日本のことがもっと好きになります。部員はまだ募集なので是非、興味がある人は一緒に学びませんか？



## (10) 文芸部

顧問：天野 弘之、由利 衣裕

部員：1年5人、2年3人、3年13人

第1位 文化発表会展示

第2位 第14回宍粟市ふれあいまつりイベント補助

(フェイスペイントのボランティア)

第3位 作品評価会

その他 文芸部では、様々なイラスト作成などに取り組んでいます。文化発表会では、作品の展示と自主製作冊子の配布を行いました。毎週金曜日の放課後に社会科教室で活動しています。学期に数回、作品の評価会を実施して、部員一人ひとりがお互いの長所を伸ばし、短所を補い、技術や意欲を高め合いながら、個性溢れる作品の創作に勤めています。10月には「宍粟国際ふれあい祭り」にボランティアとして参加し、ボディペインティングのお手伝いをします。



## (11) 書道部

顧問 住江正典、横川淳美

部員：1年1名、2年3名、3年0名

第1位 全日本高等学校書道公募展で特選

第2位 文化発表会で出展

その他 今年文化発表会で2年生が仮名作品に挑戦しました。臨書作品と、調和体も昨年度に引き続き取り組んでいます。

書道コンクールにも積極的に出品し、表彰されています。全日本高等学校書道公募展では特選をいただきました。そして秋の総合文化祭に向けて良い作品を作っていきます。



## (12) 演劇部

顧問：桂 知樹、大永 秀徳

部員：1年0人、2年1人、3年6人

第1位・兵庫県高等学校演劇研究会西播支部大会 優良賞

(13校中ベスト5) 新堀浩司作「リスタート」

第2位・文化発表会校内発表 「アナと雪の女王」

第3位・部員不足の中、3年生の有志が西播支部大会に出演、  
賞を受賞

・文化発表会でも部員ではない生徒が裏方で参加

その他

・今年度は部員不足のため、3月におこなわれる「春フェスティバル18」には不参加であった。



## 3 同好会

### (1) ESS

顧問：上野 美枝、東 俊介、フィリップ

部員：1年 2人、2年 1人、3年 1人

第1位 かしわの保育園にてクリスマス交流会への参加

平成30年12月19日にESSのメンバーと3年生の有志がかしわの保育園を訪れて園児とともにクリスマス会を楽しみました。ま園児たちはみんなにこにこして飛び跳ねていました。

第2位 文化発表会において展示

異文化理解をテーマに前 ALT のルーク先生の出身地イギリスについて調べ、展示しました。ジェンガなどのゲームコーナーにはイギリスの習慣として有名なアフタヌーンティーを楽しめるよう紅茶とお菓子を用意し、見学者に楽しんで頂きました。



### (2) ギター同好会

顧問 北山新二、安養寺優

部員：1年2名、2年4名、3年0名

第1位 山高街の駅で演奏

第2位 文化発表会で演奏

その他 今年度は2年生が4名、1年生が2人と少数精鋭となってしまいましたが、新顧問に安養寺先生を迎え、ゆとりと中身と笑顔があふれる練習を展開しています。練習場所は本館4階のセミナー室です。火・木の放課後に練習を積み重ねながら実力を身につけ、今年度の文化発表会ではステージ発表をしました。また、「山高街の駅」でも演奏しました。さらに良い演奏ができるようにと日々努力しています。



#### (4) ともしび

顧問：東 俊介、安喰 己法

部員：1年0人、2年1人、3年0人

第1位 クリスマス交流会（かしわの保育所）

第2位 はりま自立の家のオープンハウスへのボランティア参加

その他 今年、ESSや3年生の有志の生徒とともに、

かしわの保育所を訪問し、クリスマス交流会をしました。英語を使ったレクリエーションゲームや絵本の英語朗読を行ったり、クリスマスソングを園児とともに一緒に歌って、楽しく過ごすことができました。

また、今年も昨年に引き続き、「はりま自立の家」のオープンハウスにボランティア参加してバザーや障がい者の方の介助を手伝いました。少人数ですが、「ともしび」の火を消さないよう伝統を引き継ぎ活動しています。これからもよろしくお祈りします。



#### (5) 囲碁将棋同好会

顧問 木下勝晴、西川雅之

部員：1年0名、2年1名、3年0名

第1位 文化発表会で出店

その他 将棋界では藤井聡太7段昇格、羽生善治竜王の永世七冠達成が非常に大きな話題となり、囲碁界も人工知能と世界のトップ棋士との対決など注目が集まっています。

山崎高校では昨年度に続き木曜日の放課後、顧問と二人で対局と局後の検討を行い、日々研鑽しています。今年の文化発表会は詰め将棋やフリー対局スペースを用意し大いに盛り上がりました。対局数をこなし、実力養成を目指します。



# VII 平成30年度学校評価

## 平成30年度 兵庫県立山崎高等学校 学校評価報告書

学校教育目標		重点目標					
時代がどのように変わろうとも、心豊かにたくましく生きていく人を育てる。 (1) ふるさとを愛し、ふるさとを愛し、地域に貢献する人づくりを進める。 (2) 勉強と部活に力一杯取り組み、高き理想に挑戦する生徒を育てる。 (3) 夢をかたり、夢をはぐくみ、夢をかなえる学校づくりを実現する。		学校・家庭・地域が一体となって生徒の「生きる力」を育み、地域に愛され、地域が誇れるリーダーを育成する。 (1) 主体的に学習に取り組む態度を育成し、進路目標に応じた発展的な学習により、学力向上を図る。 (2) 互いを尊重する思いやりの精神とともに、自他の命や人権を大切にすることの教育を推進する。 (3) キャリア教育を通して、学ぶ意義や将来の目標を見出し、キャリアプランニング能力を育成するとともに、自立した社会人として将来に必要な能力を培う。 (4) 体験教育の推進により、ふるさと意識の醸成と、地域との関わりを通じた絆づくりを図り、社会の一員としての自覚を深める。 (5) グローバル化に対応した教育の推進により、語学力やコミュニケーション能力、主体性や創造性、チャレンジ精神を持って行動する能力や態度を育成する。 (6) 災害から得た教訓を生かし、助け合いやボランティア精神等「共生の心」を育み、「兵庫の防災教育」を推進する。 (7) 生徒と向き合う時間の確保とワーク・ライフ・バランスの実現に向けて、勤務時間の適正化に努める。					
教育方針		学校評価委員の意見					
(1) 一人一人の可能性を伸ばし、こころ豊かに自立した、未来を担う人材を育てる。 (2) ふるさとを愛し、地域の人々と支え合い協力で、兵庫の発展に貢献できる人材を育てる。 (3) 伝統と文化を尊重するとともに、異なる価値観を理解し、国際社会に貢献する力を培う。		・評価は妥当だ。 ・山高タイムスの効果が出ており情報共有をさらに進めてほしい。 ・学校情報を市民など外部に向けて積極的に発信しておられることは非常に良いことと感している。 ・よく詳しくわかりやすく情報が発信され、学校の様子や努力されていることがわかる。					
平成30年度学校評価		H30平均	評価	各部署の分析、改善の方策	学校評価委員の意見		
学校運営	つ開 くか りた れ た 学 校	各種の通信や学校ホームページ、オープンハイスクール等により生徒・保護者・地域に情報を発信している。	3.11	A	・今年度より「山高タイムス」（学校便り）を発行し、宍粟市各中学校に配付するとともに、クラス掲示、HPへの掲載に努めている。	・評価は妥当だ。 ・保護者の意見には先生方がよく目を通されて、早速改善に結び付けて頂きたいと思えます。 ・とても努力されていると思えます。	
		学校評価委員の意見、保護者や地域の声を学校改善に生かしている。	2.70	B	・HPの刷新を試みた。 ・HPの更新頻度を上げ、即時性を重視した結果、情報発信に高い評価をいただいた。	・評価は妥当だ。	
	連 校 携 内	各学校行事の反省を整理し、課題を共有して工夫・改善に取り組んでいる。	2.66	B		・評価は妥当だ。	
		生 徒 指 導	教職員が生徒指導の方針・目標を理解し、組織的な生徒指導を展開している。	2.66	B	・登下校のマナーについては、外部からの指摘を受けることもなかなか減らず、対応に苦慮している。昨年度から学期毎に全職員による一斉交通指導を実施し、交通マナーの向上に努めている。	・評価は妥当だ。 ・登下校時のマナー等の指導は、学校だけでは限界がある。保護者と連携を密にして声かけ・見守りを呼びかけたい。
			個人面談を実施したり、家庭との連携を密にしたりすることで、生徒の内面理解に基づく生徒指導を実践している。	2.72	B	・いじめへの取り組みについての評価は、学期に1回以上全生徒にアンケートを実施し、上がってきた事案に対して即日対応している。	・評価は妥当だ。 ・生徒・保護者と教員の評価に開きが大いなのは問題。
	ホームルーム活動や生徒会活動を活性化することで、生徒相互の良好な人間関係を築いている。	2.78	B	・個人面談や家庭への連絡については、信頼関係構築のため、定期的に実施するよう心がけている。来年度は三者面談を少なくとも年に2回実施するよう、年間計画にも明記した。	・評価は妥当だ。		
	進 路 指 導	本校いじめ防止基本方針に基づき、いじめに対して組織的に取り組み、未然防止や早期発見を図っている。	2.85	B		・評価は妥当だ。 ・生徒・保護者と教員の評価に開きが大い。 ・携帯電話に伴う問題が多くなっている。力を入れていただきたい項目である。 ・朝内の中中でもあるようです。その子達がどのような状況で高校に進学してくるのか心配です。	
		進路指導部と学年・教科が連携し、進路実現に向けて計画的・組織的な指導を展開している。	2.77	B	・進路指導部と学年・教科との連携における計画的・組織的な指導について、評価が上昇した。	・評価はやや低いが、おおむね妥当だ。 ・一貫性と低学年時が重要だと思えます。生徒に意識を高く持たせてやってほしい。	
		就職・進学に関するガイダンスを充実し、進路意識や進路実現への意欲を高めている。	2.85	B	・進路ガイダンスについては、内容を精査し、より一層効果的になるよう計画していきたい。 ・インターンシップは専門学科にとどまらず、普通科においても実施することを検討したい。	・評価は妥当だ。 ・目標を明確にしながら計画をお願いします。 ・進路ガイダンスなどの進路選択への指導については、生徒の評価は高いが、保護者は伝わっていない結果が出ていて残念です。	
	向 教 上 員 の 資 質	企業見学・インターンシップやオープンキャンパスにより志望動機や勤労観・職業観を醸成している。	2.89	A		・評価は妥当だ。 ・地元企業へのインターンシップは、普通科もあればよい。 ・就職率がよく喜んでます。一方、大手企業での就職に挑戦するような生徒が育ってけるのを望んでいます。	
研究授業や授業公開、生徒による授業評価を実施して教科指導力の向上に努めている。		2.49	C	・宍粟市合同の研修会の夏季実施が定着しつつあり、他校種の教員と交流が新たな刺激となっている。	・評価は妥当だ。 ・授業については、生徒・保護者とも少し厳しい評価となっており、今後取り組んでいただきたいと思えます。		
教育課程	導 学 し 易 に 指 導	主体的に研修会に参加するなど、課題意識をもって自己研鑽に努めている。	2.64	B	・今年度から計画的に研究授業・授業公開・授業評価を実施している。	・評価は妥当だ。 ・実感がわからないので答えられません。	
		生徒の興味・関心・進路目標に配慮した選択科目や類型を設定し、各学科の特色化を図っている。	2.81	B	・「個に応じた指導」「意欲の喚起」について、若干評価が低下している。新学習指導要領の趣旨を踏まえて、今後研究を深めたい。	・評価は妥当だ。 ・学校の努力が最近になって実りだしたようでとてもうれしく思っています。	
	喚 意 欲 の 育 成	授業を工夫し、基礎・基本の定着と学習意欲の伸長を図っている。	2.67	B	・普通科教育類型が2年目を迎え、新たな教育課程の編成を図っている。教育類型の内容を精査し、充実させていきたい。	・評価は妥当だ。	
各 教 育 活 動	活 課 動 外	体験的・問題解決的な学習の展開を通して、自ら考え、判断し、行動する力を養成している。	2.64	C		・評価は妥当だ。	
	育 安 防 全 災 教 ・	部活動の充実を通して、技能の向上とともに健やかな心・豊かな心の育成に努めている。	3.00	A	・吹奏楽部の躍進をはじめとして、複数の部活動が久しぶりで県大会に出場するなど、成果が上がっている。	・評価は妥当だ。 ・更に評価がUPするようお願いいたします。 ・吹奏楽部は美しい音色で聴かせてもらっていますし、部活動の活躍ぶりも耳にしています。ありがとうございます。	
	教 情 育 報	防災・安全教育を充実し、職員・生徒の危機意識を高め、危機管理の実践力・組織力を高めている。	3.04	A	・平成30年度1・17防災甲子園「ほうさい大賞」を受賞するなど高く評価されている。今年度から全校の取り組みとして発展させている。	・評価は妥当だ。 ・素晴らしいことなので、もっと生徒・保護者・地域の方々にアピールしてもいいと思う。 ・この間の受賞は地元民としてとてもうれしく思います。今後ますます力を入れてください。	
	教 人 育 権	個人情報の取り扱いや情報発信が社会に与える影響を理解し、情報モラルに関する意識を高めている。	2.78	B	・外部講師の講演会を実施しているが、昨年同様、学校などで撮影した画像・動画を簡単にSNSに書き込んだりする事案が発生している。	・評価は妥当だ。 ・不適切動画など社会問題になっています。より一層の指導をお願いします。	
	活 体 動 験	各教育活動を通して、互いの人権や命を大切にすることの教育を育んでいる。	2.79	B	・「高校生心のサポートシステム推進事業」を活用するが、その成果が充分には浸透していない。	・評価は妥当だ。	
	ボランティア等の体験活動を充実して、自己有用感や豊かな人間性・社会性を育てている。	2.79	B	・山高衛の駅及びふるさと貢献活動等の取り組みが定着しているが、内容を精査し、より効果的なものにするよう取り組みたい。	・評価は妥当だ。		

※ 「H30平均」の項目は、生徒・保護者・職員によるアンケート（1＝そう思わない、2＝あまり思わない、3＝どちらかと言えばそう思う、4＝そう思う）の平均値です。保護者の皆様から記述していただいたご意見は、教職員間で情報共有しており、平成31年度にはその改善に努めます。

## VIII 平成 30 年度広報・HP

「地域に開かれた学校づくり」を進める上で、学校広報は非常に重要な責務を課せられている。学校として十分に広報を行っている、と思っても案外地域の方々には知られていないことが多い。地域の皆様方にとって、最も学校の姿が見えるのは「日々の生徒の様子」、特に登下校時の生徒たちの姿であろう。元気よく挨拶をする生徒の姿に、「山高生は明るくさわやかだ。」との印象を持っていただけるし、反対に、急に飛び出してくる様な危ない自転車運転をする生徒を目にされると「山高生は乱暴だ。」との印象を持たれて、学校への苦情電話となって返ってくる。生徒は、一人一人が学校の宣伝塔なのである。

そういった日常的な指導の在り方を抑えつつ、平成 30 年度、本校の教育活動を広く知って頂くために以下の 3 つの点を重視して広報を行った。

- 1 学校HPの刷新
- 2 広報誌「山高タイムズ」の発刊(月 2 回)
- 3 新聞記事等への掲載

HP刷新の状況については、実際に本校のHPを見て頂くのが一番である。全体的なデザインが一新されたのみならず、昨年度までの非常に遅い更新状況が現在ではほぼ毎日の様に新着情報が掲載されており、アクセス数も日に 800 件を数えている。

「山高タイムズ」は毎月の学校行事や生徒たちの日常的な教育活動を遺憾なく伝える広報媒体として創刊した。平成 30 年度は号外を含めて 24 回の発行を行い、各中学校等に配布し、HP にも掲載した。

平成 30 年度、本校は各新聞社に様々な記事として取り上げて頂き、その数は 30 回を数えた。また、『広報しそう』等の地元広報誌や『BanCul』を始めとする播磨地域の雑誌に何度も取り上げられ、広く本校生徒の活躍を知って頂くことができた。今後とも、たゆまず本校の広報に努めてゆきたい。



<資料1> 「校章・校訓・校歌・校木」由来 (平成30年6月執筆)

## 校章



新制高校「県立山崎高等学校」は、昭和23年(1948)4月、山紫水明の自然環境に恵まれた宍粟の地に多くの希望と期待を背負い発足。学校のシンボルとしての校章を考案すべく、生徒、教職員で議論を重ねた。校区には揖保川の清流が南北に流れ、千メートル前後の山脈が豊かな森林を育てていた。当時の美術科教諭であった福井政雄氏の案で、清流と山脈に囲まれ、飛翔する山崎高校を象徴する作品が、新制高等学校発足の喜びを表すべく、昭和23年に校章として制定されたのである。

## 校訓「希望・英知・敬愛」

平成元年(1979)、山高創立80周年(傘寿)を機に、校訓制定の気運が高まり、明治以来の校風を活かしながら半年をかけて各方面のご意見・ご助言を賜りつつ熟議を重ね、「希望・英知・敬愛」の言葉に同窓相集いての願いを結晶化させた。制定は平成2年2月。玄関脇校訓碑の揮毫は第24代校長中山晶弘先生。雅号は師山。建立は翌平成3年2月である。



## 校歌



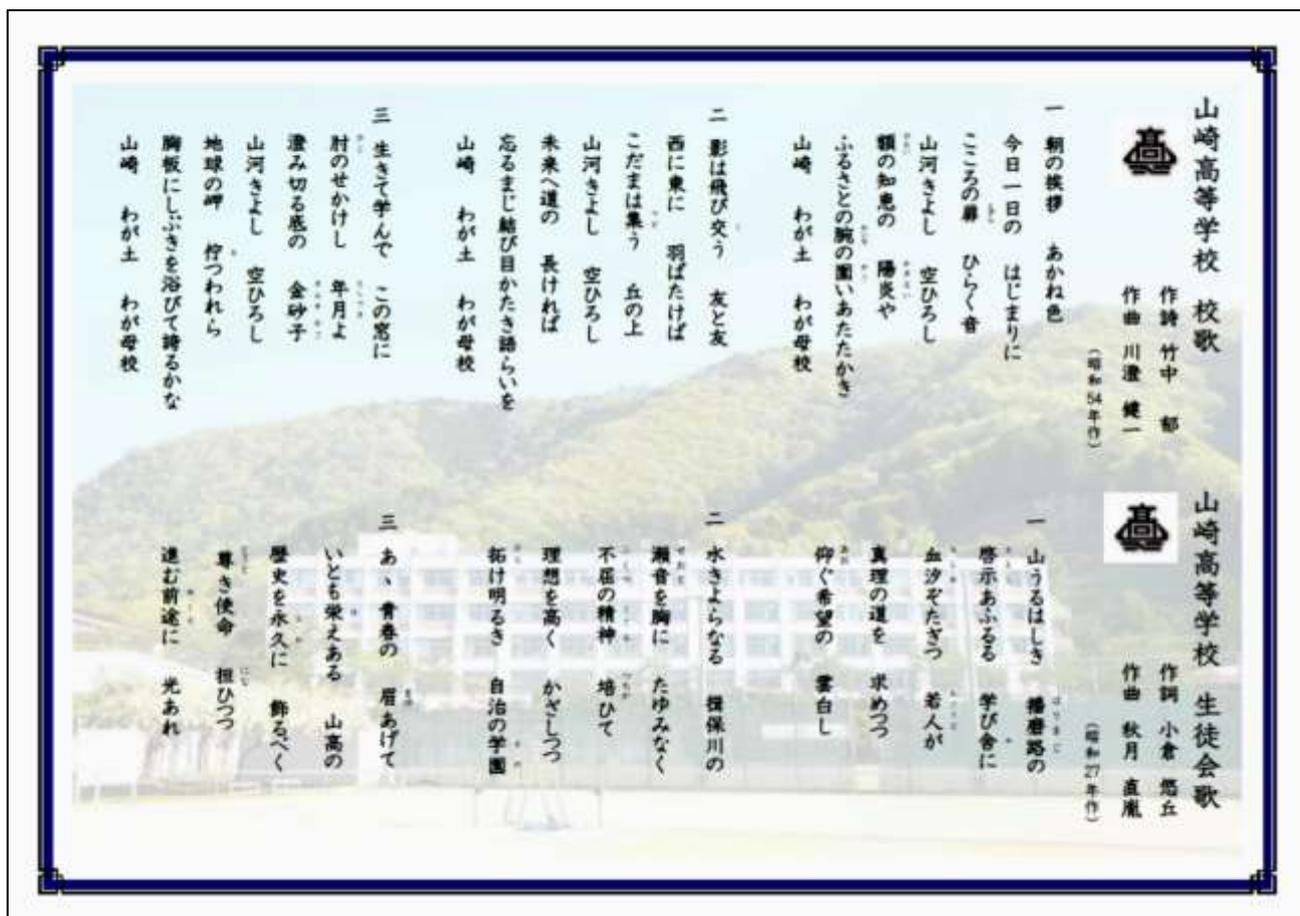
山高では長らく、昭和28年2月制作の「生徒会歌」が歌われていたが、昭和54年(1979)の創立70周年に向けて校歌制定の声が高まり、竹中郁先生作詩、川澄健一先生作曲の校歌が遂に成ったのである。リズムは明るく軽快で、天空に向かって高らかに響き渡る感がある。校歌は言わば学校の象徴であり、生徒の心のよりどころである。永久に歌い継がれることを心から祈るものである。写真は、校門内側70周年記念庭園中央に鎮座する校歌碑。

## 校木「ゆずりは(交譲木)」 (*Daphniphyllum macropodum* Miq.)

新葉が開き始める頃、旧葉が垂れ旧葉と新葉が入れ替わる。古くから縁起植物として、又観賞用として多くの人に親しまれて来た。江戸時代の博物学書によると「ユズリハ、春新葉ととのいて後旧葉落つ故にユズリハと名づく」とある。本校では、この木の持った意味あいを考え、教育の泉が永遠に枯れることなく若い生命を脈々と育むということに夢を託して、昭和40年(1965)、この木を校木として制定したのである。



<資料 2> 「校歌・生徒会歌」歌詞紙片 (背景山崎高校校舎：平成 30 年 5 月制作)



編集後記

平成 30 年度兵庫県立山崎高等学校年次記録『地球の岬』をお届けします。奇しくも、「平成」という一つの時代の終わりにあたって、このような仕事に関わることができたことを光栄に存じます。

後の時代の方々に、平成最後の年の山崎高校の姿をお示しできれば幸いです。

この冊子の編集に際し、お忙しい中原稿を提出していただいた皆様に心よりお礼申し上げます。

教頭 篠原 歩

『地球の岬』

— 平成 30 年度山崎高校一年間の記録 —  
 創刊号

発行：兵庫県立山崎高等学校

兵庫県宍粟市山崎町加生 340

印刷：平成 31 年 3 月 31 日